

整形外科

主任教授 吉田宗人

教授 谷口泰徳

講師 山田宏 橋爪洋 南出晃人 中川幸洋

助教 西秀人 岩崎博 筒井俊二 宮崎展行 阿部唯一 宮本選 谷口隆哉

研究概要

当教室では脊椎・脊髄に関する基礎的・臨床的研究を中心に行っている。基礎研究は臨床との関連性を重視しており、これまでに電気生理学的脊髄モニタリング法の臨床応用、動物モデルを用いた腰部神経根性疼痛メカニズムの解明、細胞組織工学による椎間板再生、骨形成タンパクと人工骨の脊椎固定術への応用、パッチクランプ法による疼痛伝達路の解明及び脊髄前角細胞の電気生理学的作用の解明、脊柱靭帯骨化症に対する分子生物学的アプローチなどを行ってきた。長寿社会が達成された現在、人々は生活の質の改善を求めており、運動器疾患の治療と撲滅は最重要課題とされている。われわれはこの社会的要求に応えるべく、臨床面で現在、低侵襲手術の研究・開発にも力を注いでいる。また、形成外科・手の外科分野においても微小血管外科やキーンバック病に関する報告を数多く行っている。

以下にその詳細を列挙する。

1 脊椎外科に関連する基礎的並びに臨床的研究

- 脊椎内視鏡手術の技術開発と臨床応用に関する研究
- 脊椎内視鏡手術におけるナビゲーションシステムの応用に関する研究
- 脊柱靭帯骨化症関連遺伝子の解析
- 腰部脊柱管狭窄症の自然経過に関する疫学調査研究
- 腰椎椎間孔障害の補助診断法としての電気生理学的研究
- 脱出椎間板組織の吸収過程と神経因性疼痛の制御に関する研究
- 変性椎間板による神経因性疼痛発現機序とその制御に関する研究
- パッチクランプ法を用いた脊髄内痛覚伝導路に関する研究
- パッチクランプ法を用いた脊髄前角細胞に対する虚血負荷に対する検討
- パッチクランプ法を用いた運動ニューロンの電気生理学的作用の研究
- 焼成骨 (true bone ceramic, TBC) の脊椎固定材料としての有用性に関する研究
- 術中脊髄機能モニタリングに関する基礎的・臨床的研究

2 骨髄幹細胞による骨・靭帯・関節組織の再生に関する研究

- 培養椎間板細胞を用いた椎間板再生に関する研究
- 骨髄幹細胞を用いた脊椎固定術に関する研究
- 骨髄幹細胞を用いた靭帯再建術に関する研究

3 骨形成タンパク (OP-1) の臨床応用に関する研究

- 骨形成タンパクによる変性椎間板の再生と神経因性疼痛抑制に関する研究
- 骨形成タンパクによる脊椎固定術に関する研究

4 その他

- キーンバック病に関する臨床的研究
- マイクロサージェリーを用いた機能再建術に関する臨床的研究
- 小児上腕骨顆上骨折の装具療法の研究

著書

1. 吉田宗人(編者):企画にあたって。「スキル関節鏡下手術アトラス 脊椎内視鏡下手術」文光堂,東京, pp5, 2013
2. 吉田宗人(編者):内視鏡手術Q & A 内視鏡下手術の将来展望D, PED 手術の10年後はどうか。「スキル関節鏡下手術アトラス 脊椎内視鏡下手術」文光堂,東京, pp114, 2013
3. 吉田宗人(編者):内視鏡下手術Debate PED と MED の適応の差は?。「スキル関節鏡下手術アトラス 脊椎内視鏡下手術」文光堂,東京 pp249, 2013
4. 川上 守: Section3 椎間固定術 A 後側方固定術:椎弓根スクリュー法:カラーアトラス 脊椎・脊髄外科:山下敏彦編:中外医学社東京 pp.370-379, 2013.
5. 川上 守:第3章治療 2) 腰部脊柱管狭窄 日常診療における末梢血管障害の診療ガイド「腰部脊柱管狭窄との診療も踏まえて宮田哲郎,松尾 汎,紺野慎一編:呼吸研究,東京pp 52-53, 2013.
6. 山田 宏:内視鏡下手術でピンポイントサージェリーを行うための画像診断 -MRI・3D-MRI-。「スキル関節鏡下手術アトラス.脊椎内視鏡下手術」初版、監修 越智光夫、編集 吉田宗人、文光堂、東京、 p103-107、2013
7. 山田 宏: L5-S1 椎間孔部狭窄に対する除圧術。「スキル関節鏡下手術アトラス.脊椎内視鏡下手術」初版、監修 越智光夫、編集 吉田宗人、文光堂、東京、 p230-235、2013
8. 山田 宏:術後性後根神経節関連神経痛。「スキル関節鏡下手術アトラス.脊椎内視鏡下手術」初版、監修 越智光夫、編集 吉田宗人、文光堂、東京、 p344-347、2013
9. 橋爪 洋、吉田宗人: V.脊椎内視鏡下手術とそのスキルFrontier 3 脊椎変性疾患に対する内視鏡下tandem operation。「スキル関節鏡下手術アトラス 脊椎内視鏡下手術」吉田宗人編 文光堂,東京, pp304-311, 2013
10. 橋爪 洋、吉田宗人: 56腰部脊柱管狭窄症。「今日の臨床サポート」中村利孝監修,エルゼビア・ジャパン,東京 <https://clinicalsup.jp/contentlist/index.html>
11. 南出晃人:脊椎内視鏡下手術とそのスキル-すべり症に対する除圧術のポイント。「スキル関節鏡下手術アトラス」文光堂 東京, pp220, 2013
12. 南出晃人:脊椎内視鏡下手術とそのスキル-頸髄症に対する内視鏡下椎弓形成術。「スキル関節鏡下手術アトラス」文光堂 東京, pp236, 2013
13. 中川幸洋:各種神経根奇形とその神経走行異常からみた操作上の注意点「スキル関節鏡下手術アトラス 脊椎内視鏡下手術」越智光夫監修,吉田宗人編, pp80-85, 文光堂, 2013
14. 中川幸洋:頸椎神経根症に対する椎間孔拡大術「スキル関節鏡下手術アトラス 脊椎内視鏡下手術」越智光夫監修,吉田宗人編, pp242-249, 文光堂, 2013
15. 中川幸洋:超音波メス sonopetを用いた内視鏡下手術「スキル関節鏡下手術アトラス 脊椎内視鏡下手術」越智光夫監修,吉田宗人編, pp298-303, 文光堂, 2013
16. 岩崎 博、吉田宗人:電気生理学的高位診断法。「スキル関節鏡下手術アトラス 脊椎内視鏡下手術」越智光夫監修,吉田宗人編, pp98-102, 2013
17. 野村和教、吉田宗人.内視鏡下椎弓切除術:片側進入両側除圧. カラーアトラス脊椎・脊髄外科 山下敏彦編. 中外医学社,東京, pp308-318, 2013.

18.

野村和教、吉田宗人. 内視鏡下椎間板摘出術. カラーアトラス脊椎・脊髄外科山下敏彦編 . 中外医学社 , 東京 , pp347-357, 2013.

19.

野村和教、吉田宗人.V . 脊椎内視鏡下手術とそのスキルAdvance [MED] 5 . 腰部脊柱管狭窄症に対する除圧 - ME-MILD. 「スキル関節鏡下手術アトラス 脊椎内視鏡下手術」吉田宗人編 , 文光堂 , 東京 , pp204-209,2013

20.

野村和教、吉田宗人. 内視鏡下椎弓切除術. 第4章腰部脊柱管狭窄症 先端医療シリーズ44 臨床医のための最新整形外科 . 平澤泰介、三浪明男、戸山芳昭、糸満盛憲、望月一男、井樋栄二、石黒直樹、久保俊一、吉川秀樹、越智光夫、小宮節郎、寺田弘司編. 株式会社寺田国政事務所先端医療技術研究所, 東京 , pp92-95, 2013.

21.

野村和教、吉田宗人: 内視鏡下手術ebate 正中アプローチと片側進入両側除圧の違い・適応に差があるかIPPA の立場から. 「スキル関節鏡下手術アトラス 脊椎内視鏡下手術」吉田宗人編 文光堂, 東京 , pp366, 2013

22.

Nomura K, Yoshida M, Kawai M, Okada M, Nakao SI : A Novel Microendoscopically Assisted Approach for the Treatment of Recurrent Lumbar Disc Herniation: Transosseous Discectomy Surgery. J Neurol Surg A Cent Eur Neurosurg. 2013 May 15. [Epub ahead of print], 2013

23.

中尾慎一、福井大輔、川上 守 : モダリティに特異的な画像所見 : 傍脊椎軟部組織石灰化 : カラーアトラス 脊椎・脊髄外科 : 青木茂樹、星地亜都司、斉藤延人編 : 南江堂 , pp.II-5-20-II-5-21, 2013.

24.

中尾慎一、福井大輔、川上 守モダリティに特異的な画像所見 : 正常の硬膜外骨髄信号カラーアトラス 脊椎・脊髄外科 : 青木茂樹、星地亜都司、斉藤延人編 南江堂, 東京 pp.II-5-22-II-5-25, 2013.

25.

中尾慎一、福井大輔、川上 守 : モダリティに特異的な画像所見 : 硬膜外、骨髄の異常信号カラーアトラス 脊椎・脊髄外科 : 青木茂樹、星地亜都司、斉藤延人編 : 南江堂 pp.II-5-26-II-5-229, 2013.

26.

中尾慎一、福井大輔、川上 守モダリティに特異的な画像所見 : 硬膜外病変(T1 強調像高信号) : カラーアトラス 脊椎・脊髄外科 : 青木茂樹、星地亜都司、斉藤延人編 : 南江堂 pp.II-5-30-II-5-31, 2013.

27.

中尾慎一、福井大輔、川上 守モダリティに特異的な画像所見 : 硬膜外病変(T1 強調像低信号) : カラーアトラス 脊椎・脊髄外科 : 青木茂樹、星地亜都司、斉藤延人編 : 南江堂 pp.II-5-32-II-5-35, 2013.

28.

中尾慎一、福井大輔、川上 守 : モダリティに特異的な画像所見 : 硬膜外病変 (T2 強調像高信号、 T1 強調像等信号) : カラーアトラス 脊椎・脊髄外科: 青木茂樹、星地亜都司、斉藤延人編 : 南江堂 pp.II-5-36-II-5-39, 2013.

29.

中尾慎一、福井大輔、川上 守 : モダリティに特異的な画像所見 : 硬膜外病変 (T2 強調像低信号、 T1 強調像低信号) : カラーアトラス 脊椎・脊髄外科: 青木茂樹、星地亜都司、斉藤延人編 : 南江堂pp.II-5-40-II-5-41, 2013.

30.

中尾慎一、福井大輔、川上 守 : 臨床的にみた鑑別 : 腰椎の軟部腫瘍-小児 : カラーアトラス 脊椎・脊髄外科 : 青木

茂樹、星地亜都司、齊藤延人編：南江堂 東京 pp.II-5-42-II-5-45, 2013.

31.

中尾慎一、川上 守、福井大輔II 運動器慢性痛にみられる問題点慢性痛がもつ問題点C 姿勢異常による痛み、筋骨格系への過負荷：運動器慢性痛診療の手引き日本整形外科学会 運動器疼痛対策委員会 田口敏彦、山下敏彦、牛田享宏編 南江堂 東京 pp 37-40, 2013.

32.

中尾慎一、吉田宗人：内視鏡下手術でピンポイントサージャリーを行うための画像診断―「スキル関節鏡下手術アトラス 脊椎内視鏡下手術」吉田宗人編 文光堂，東京， pp108-113, 2013

33.

木岡雅彦、吉田宗人：ナビゲーション支援内視鏡下手術。「スキル関節鏡下手術アトラス 脊椎内視鏡下手術」文光堂，東京， pp292-297, 2013

34.

谷口亘，中塚映政：第 2 章 痛みのメカニズムと最新治療 1. 痛みのメカニズム「先端医療シリーズ4 臨床医のための最新整形外科」先端医療技術研究会東京，pp.51-54, 2013

35.

谷口亘，中塚映政：1章総論 5. 炎症痛のメカニズム「痛みのScience & Practice シリーズ2 痛みの薬物治療」文光堂，東京，pp.58-66, 2013

36.

福井大輔、川上 守、中尾慎一：IV 運動器慢性痛への対処 6 手術療法の種類と適応：運動器慢性痛診療の手引き：日本整形外科学会 運動器疼痛対策委員会田口敏彦、山下敏彦、牛田享宏編 南江堂 東京 pp 109-117, 2013.

総説

1. 山田 宏：診療の秘訣 腰椎手術が失敗する理由 . Modern Physician Vol.33 No4: p528, 2013
2. 山田 宏：腰椎椎間孔狭窄の診断学 . ペインクリニック Vol.34.No1 : 67-76, 2013
3. 山田 宏、吉田宗人：腰椎椎間孔狭窄に対する診断と治療 . 関節外科 Vol.32 No11 : 36-42, 2013
4. 山田 宏、吉田宗人：腰椎椎間孔狭窄の診断のポイントとは？ . Locomotive Pain Frontier Vol.2 No2 : 42-43, 2013
5. 南出 晃人，吉田 宗人：【筋温存型脊椎手術の現状】内視鏡下頸椎後方除圧術 . 整形・災害外科 56(3): 225-231,2013.
6. 南出 晃人：【頸椎症性脊髄症の最新の知見】内視鏡下頸椎後方除圧術 . 関節外科 32(5): 530-537, 2013.
7. 南出 晃人，吉田 宗人：【頸椎椎弓形成術の過去・現在・未来】頸髄症に対する内視鏡下頸椎後方除圧術 . 脊椎脊髄 26(11): 1073-1077, 2013.
8. 南出 晃人 . 【脊椎鏡視下手術の現状と未来】頸椎症性脊髄症（ヘルニアを含む）に対する手術 . 関節外科 32(11): 1260-1266,2013.
9. 中川幸洋、吉田宗人：脊椎後方内視鏡手術と合併症 -とくに術後血腫とその対策について- . Journal of Spine Research 4(1):7-15, 2013
10. 中川幸洋、吉田宗人：腰仙椎腸骨固定のピットフォール . 臨床整形外科 67-374, 2013
11. 中川幸洋：脊椎内視鏡手術の現状と未来 腰部脊柱管狭窄症に対する手術 . 関節外科 32: 1229-1239, 2013
12. 野村和教、吉田宗人 . 再発ヘルニアに対する MED 手術とポイント . 特集 脊椎鏡視下手術の現状と未来 . 関節外科 32(11): 1223-1228, 2013.
13. 宮崎展行、阿部唯一、谷口隆哉、峰 巨、三宅悠介、吉田宗人：【人工膝関節置換術 update】患者満足度を上げるためには？ 整形・災害外科，56(9)1133-1139，2013

14. 谷口亘 , 吉田宗人 , 中塚映政 : 【慢性疼痛と原因療法】2X 受容体を介した慢性疼痛メカニズムと鎮痛床整形外科 48(12) : 1169-1174, 2013
15. 貴志真也、片岡大輔、小川那留美、野村和教 河合将紀、吉田宗人 : 【アスリートの腰痛に対する保存療法】アスリートにおける腰椎椎間板ヘルニアの理学療法 . 臨床スポーツ医学8)781-787 , 2013
16. 吉村典子、中村耕三、阿久根徹、藤原佐枝子、清水容子、吉田英世、大森 豪、須藤啓広、西脇祐司 吉田宗人、下方浩史 : 【最新の骨粗鬆症学 - 骨粗鬆症の最新知見】大規模臨床試験の概要・住民コホート研究の概要 LOCOMO スタディ . 日本臨床 71(増刊 2)最新の骨粗鬆症学 642-645 , 2013

原著

1. 岡安 勤 : 月出法を行った先天性内反足ギプス終了時の MRI 所見と長期成績 . 別冊整形外科4:158-161,2013
2. 川上 守 : 慢性腰痛の薬物治療心理的ケア、リハビリとの並行 Japan Medicine Monthly 038 (3): 13, 2013.
3. 川上 守 : 種々の腰痛診療ガイドラインからわかった非特異的腰痛 整形会誌 87 (2):S563,2013.
4. 川上守、峯玉賢和、三宅隆広 森木貴司、左近奈菜、木下康正、門阪泰憲、松岡淑子、福井大輔、中尾慎一 : 腰部脊柱管狭窄症に対する理学療法有効例の多面的評価を用いた検討 Spine Res 4(6):1057-1061,2013.
5. 川上 守 : 慢性腰痛に対する診断・治療の問題点—心理評価の必要性 大阪臨床整形外科医会会報9:106-107,2013.
6. Kawakami M, Nakao S, Fukui D, Kadosaka Y, Matsuoka T, Yamada H.: Modified Marmot operation versus spinous process transverse cutting laminectomy for lumbar spinal stenosis.: Spine 38(23):E1461-1468,2013.
7. Ando M, Tamaki T, Kawakami M, Minamide A, Nakagawa Y, Maio K, Enyo Y, Yoshida M : Electrophysiological diagnosis using sensory nerve action potential for the intraforaminal and extraforaminal L5 nerve root entrapment. Eur Spine J. 2013. Apr;22(4):833-9.2013
8. 安藤宗治 , 玉置哲也 , 松本朋子 , 峠康 , 松本卓二 , 佐藤貴一 : 頸椎椎弓形成術後 C5 麻痺の電気生理学的手法を用いた危険因子の検討 . 日本脊髄障害医学会雑誌(1)106-107,2013
9. 安藤宗治 , 玉置哲也 , 松本卓二 , 神埜聖治 , 山中学 , 佐々木俊二 : 頸椎椎弓形成術後C5 麻痺の危険因子の検討 . 脊髄機能診断学4(1)142-146,2013
10. 山田 宏、吉田宗人、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、河合将紀、岩崎 博、筒井俊二、遠藤 徹 : 腰椎手術後に発生した神経障害性疼痛の臨床的特徴 . 整形外科ol.64, No.1 : 1-5, 2013
11. 山田 宏、吉田宗人、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、西 秀人、岩崎 博、筒井俊二、 延與良夫、遠藤 徹、木岡雅彦、石元優々、瀧口 登、籠谷良平、寺口真年 : L5-S1 腰椎椎間孔部狭窄に対する脊椎内視鏡手術の治療成績 Journal of Spine Research 4(9) : 1363-1366, 2013
12. hashizume H, Yoshimura N, Nagata K, Miyazaki N, Ishimoto Y, Nishiyama R, Oka H, Yamada H, Yoshida M : [Development and evaluation of a video exercise program for locomotive syndrome in the elderly](#). Mod Rheumatol. 2013 Mar 30. [Epub ahead of print], 2013.
13. Toge Y, Nishimura Y, Jeffrey R. Basford, Nogawa T, Yamanaka M, Nakamura T, Yoshida M, Nagano A, Tajima F :Comparison of the Effects of Flexion and Extension of the Thumb and Fingers on the Position and Cross-Sectional Area of the Median Nerve . PLOS ONE 8(12):e83565 , 2013
14. 松本卓二 , 安藤宗治 , 神埜聖治 , 佐々木俊二 : 術後フェンタニル持続静脈投与に併用したドロペリドールにより錐体外路症状を呈した例 . 中部日本整形外科災害外科学会雑誌4) 859-860,2013
15. 松本卓二 , 安藤宗治 , 峠康 , 佐々木 俊二 : 陳旧性胸髄損傷患者に発症した第 2 腰椎圧迫骨折遷延治療に対するテリパラチド投与の有効性 . 中部日本整形外科災害外科学会雑誌849-850,2013
16. 松本卓二 , 安藤宗治 : 陳旧性胸髄損傷患者に発症した第 2 腰椎圧迫骨折遷延治療に対するテリパラチド投与の有効性 . 日本脊髄障害医学会雑誌6(1)136-137,2013

17. 松本卓二 , 安藤宗治 , 峠康 , 佐々木俊二 : 大腿骨近位部骨折手術患者におけるエノキサパリンナトリウム
オンダパリヌクスナトリウムエドキサバントシル酸塩水和物の周術期イマー値 , 合併症の検討 . 整形外科
64(9)957-960, 2013
18. 松本卓二 , 安藤宗治 , 峠康 , 佐々木俊二 : 大腿骨近位部骨折におけるエノキサパリン、
フォンダパリヌクス、
エドキサバンの周術期 D-dimer 値の検討 . 中部日本整形外科災害外科学会雑誌(2)495-496,2013
19. 松本卓二 , 西山大介 , 寺口真年 , 濱崎廣洋 : 上膝蓋アプローチを用いた新しい脛骨髄内釘の治療経験 . 臨床整
形外科 48(2) 171-178,2013
20. Minamide A, Yoshida M, Maio K. The natural clinical course of lumbar spinal stenosis: a longitudinal cohort study
over a minimum of 10 years. J Orthop Sci 2013: 18(5), 693-698.
21. Minamide A, Yoshida M, Yamada H, Nakagawa Y, Kawai M, Maio K, Hashizume H, Iwasaki H, Tsutsui S.
Endoscope-assisted spinal decompression surgery for lumbar spinal stenosis: technical note. J Neurosurg Spine
2013: 19(6); 664-671.
22. Minamide A, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Nakagawa Y, Kawai M, Iwasaki H, Tsutsui S. Clinical
Outcomes of Cervical Endoscopic Surgery for Cervical Spondylotic Myelopathy. J Spine Res 2013 : 4(2), 129-
135.
23. 南出晃人, 吉田宗人 : 【頸椎椎弓形成術の過去・現在 未来】頸髄症に対する内視鏡下頸椎後方除圧術 , 脊椎脊髄ジ
ャーナル 26(11)1073-1077 , 2013
24. 南出晃人 , 中川幸洋 , 遠藤徹 , 岡田紗枝 , 原田 剌二 , 木岡 雅彦 , 吉田 宗人 . MR-CT fusion画像が診
断と治療に有用であった神経根奇形の一例和歌山医学 64(2): 58, 2013.
25. 南出晃人 , 吉田宗人 , 山田宏 , 橋爪洋 , 中川幸洋 , 西秀人 , 岩崎博 , 筒井俊二 , 遠藤徹 , 石元
優々 , 岡田紗枝 . 腰椎変性すべり症に対する内視鏡下後方除圧術の中長期臨床成績の検討 . すべりの病期別から
の分析 . 日整会誌 87(3): S761, 2013.
26. 南出晃人 , 吉田宗人 , 山田宏 , 橋爪洋 , 中川幸洋 , 西秀人 , 岩崎博 , 筒井俊二 , 延與良夫 , 遠藤
徹 , 石元優々 , 岡田紗枝 . 腰椎変性すべり症に対する内視鏡下後方除圧術後の中長期追跡調査 すべり病期から
の分析 . J Spine Res 4(3): 223. 2013.
27. 南出晃人 , 吉田宗人 , 山田宏 , 橋爪洋 , 中川幸洋 , 西秀人 , 岩崎博 , 筒井俊二 , 延與良夫 , 遠藤
徹 . 頸椎症性脊髄症に対する内視鏡下頸椎椎除圧術の長期臨床成績の検討 J Spine Res 4(3): 217, 2013.
28. 南出晃人 , 吉田宗人 , 山田宏 , 橋爪洋 , 中川幸洋 , 岩崎博 . 中等度の不安定性を有する変性腰椎すべり
症の治療 中等度腰椎変性すべり症に対する治療 - 内視鏡下腰椎除圧術の . 中部整災誌 56巻春季学会 : 164,
2013.
29. 南出晃人 , 吉田宗人 , 山田宏 , 橋爪洋 , 中川幸洋 , 岩崎博 . 高齢者の頸髄症に対する脊椎内視鏡下手術
の有用性の検討. 中部整災誌 56秋季学会 : 129, 2013.
30. 南出晃人, 吉田宗人 : 【筋温存型脊椎手術の現状】内視鏡下頸椎後方除圧術 , 整形・災害外科 , 56(3)225-
231 , 2013
31. 中川幸洋, 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 西秀人, 河合将紀, 岩崎博, 筒井俊二, 遠藤徹, 延与良夫, 石元
優々, 長田圭司, 木岡雅彦 : 頸部脊髄症に対する内視鏡下椎弓形成術の周術期合併症と対策 Journal of Spine
Research, vol4. No3, 601
32. 中川幸洋, 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 西秀人, 河合将紀, 岩崎博, 筒井俊二, 遠藤徹, 延与良夫, 石元
優々, 長田圭司, 木岡雅彦 : パーキンソン病患者における腰椎変性疾患における除圧手術の成績と問題点 .
Journal of Spine Research, vol4. No3, 270
33. 岩崎 博 , 吉田宗人 , 山田 宏 , 橋爪 洋 , 南出晃人 , 中川幸洋 , 西 秀人 , 筒井俊二 , 延與良夫 , 遠藤
徹 , 石元優々 , 他 : 腰部脊柱管狭窄症における画像・電気生理学的診断と神経重複病変 (double lesion) の頻

- 度 . J Spine Res4(9) : 1351-1355 , 2013 .
34. 野村和教、吉田宗人、河合将紀、岡田基宏、中尾慎一、麻殖生 犇博施設で実施された脊椎内視鏡手術00例の検討 . 臨整外 48(10): 997-1002, 2013.
 35. Tsutsui S, Yamada H, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Iwasaki H, Yoshida M. : [Quantification of the proportion of motor neurons recruited by transcranial electrical stimulation during intraoperative motor evoked potential monitoring.](#) J Clin Monit Comput. 2013;27:633-7
 36. Tsutsui S, Kagotani R, Yamada H, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Iwasaki H, Yoshida M : [Can decompression surgery relieve low back pain in patients with lumbar spinal stenosis combined with degenerative lumbar scoliosis?](#) Eur Spine J. 2013;22:2010-4.
 37. Tsutsui S, Yoshimura N, Watanuki A, Yamada H, Nagata K, Ishimoto Y, Enyo Y, Yoshida M. : Risk factors and natural history of de novo degenerative lumbar scoliosis in a community-based cohort: The Miyama study. Spine Deformity. 2013;1:287-92.
 38. 宮崎展行 , 阿部唯一 , 谷口隆哉 , 峰巨 , 三宅悠介 , 吉田宗人 : 【人工膝関節置換術 update】患者満足度を上げるためには? . 整形・災害外科(0387-4095)56 巻 9 号 Page1133-1139 , 2013
 39. Takami M, Yamada H, Nohda K, Yoshida M : [A minimally invasive surgery combining temporary percutaneous pedicle screw fixation without fusion and vertebroplasty with transpedicular intracorporeal hydroxyapatite blocks grafting for fresh thoracolumbar burst fractures: prospective study.](#) Eur J Orthop Surg Traumatol. 2013 Jul 5. [Epub ahead of print], 2013
 40. Takami M, Nohda K, Sakanaka J, Nakamura M, Yoshida M: [Usefulness of full spine computed tomography in cases of high-energy trauma: a prospective study.](#) Eur J Orthop Surg Traumatol. 2013 Jul 6. [Epub ahead of print], 2013
 41. Enyo Y, Yamada H, Hoon Kim J, Yoshida M, Hutton WC :[Microendoscopic Lateral Decompression for Lumbar Foraminal Stenosis: A Biomechanical Study.](#) J Spinal Disord Tech. 2013 Nov 5. [Epub ahead of print], 2013
 42. Shin-ichi Nakao, Mamoru Kawakami, Daisuke Fukui: The effect of human parathyroid hormone (1-34) on spine fusion in an osteoporotic animal model: Transaction of Orthopedic Research Society 38: 93, 2013.
 43. 中尾慎一、川上 守、宮本 選、福井大輔 : CT ミエログラフィーにおける軸荷重による硬膜管断面積の変化の検討 : J Spine Research 4(3):801, 2013.
 44. 中尾慎一、川上 守、宮本 選、石元優々 : 胸髄髄膜腫と馬尾上衣腫の同時発症にて歩行障害をきたした 中部整災誌 .
 45. 中尾慎一、川上 守 : 特集 : 非特異的腰痛で知っておきたいことIII. 治療 薬物療法誌 : Monthly Book Orthopaedics 26(12): 42-48, 2013.
 46. 宮本 選、中尾慎一、石元優々、福井大輔、川上 守 : 脊柱変形を伴う腰部脊柱管狭窄症に対する除圧矯正固定術後椎間板ヘルニアによる下肢 麻痺を呈した 1 例 : 中部整災誌 .
 47. [谷口隆哉](#) , [宮崎展行](#) , [阿部唯一](#) , [峰巨](#) , [三宅悠介](#) , [吉田宗人](#) : 術後感染予防 私はこうしている 当科における人工股関節置換術後感染に対する二次的再置換術の検討 . 日本人工関節学会誌2013
 48. 峰巨 , 中塚映政 , 谷口亘 , 瀧口登 , 阿部唯一 , 宮崎展行 , 吉田宗人 : 脊髄前角におけるニコチン性アセチルコリン受容体によるシナプス伝達制御機構 機能診断学4(1): 65-71, 2013
 49. 峰巨 , 宮崎展行 , 阿部唯一 , 谷口隆哉 , 三宅悠介 , 玉井英伸 , 吉田宗人 : 高齢者に対するTHA 80 歳以上の高齢者に対する人工股関節置換術がもたらす 生命予後の調査 . 日本人工関節学会誌43: 157-158, 2013
 50. Ishimoto Y, Yoshida M, Nagata K, Yamada H, Hashizume H, Yoshimura N: [Consuming breakfast and exercising longer during high school increases bone mineral density in young adult men.](#) J Bone Miner Metab.

- 2013May;31(3):329-36. 2013
51. Ishimoto Y, Yoshimura N, Muraki S, Yamada H, Nagata K, Hashizume H, Takiguchi N, Minamide A, Oka H, Kawaguchi H, Nakamura K, Akune T, Yoshida M: [Associations between radiographic lumbar spinal stenosis and clinical symptoms in the general population: the Wakayama Spine Study](#). Osteoarthritis Cartilage. 2013 Jun;21(6):783-8. 2013
 52. 北野岳史 , 坂田仁郎 , 小島博嗣 , 檀上茂人 : 80歳以上の高齢者に対するセメント固定人工骨頭置換術の検討 . 中部日本整形外科災害外科学会雑誌6(4): 1021-1022, 2013
 53. Nishiyama D, Matsumoto T, Hamazaki H.: The treatment of femoral neck fractures: results using cephalocervical screws with sliding mechanism. Eur J Orthop Surg Traumatol. : 23(8):907-11. 2013
 54. Nagata K, Yoshida M, Ishimoto Y, Hashizume H, Yamada H, Yoshimura N: [Skipping breakfast and less exercise are risk factors for bone loss in young Japanese adults: a 3-year follow-up study](#). J Bone Miner Metab. 2013 Sep 20. [Epub ahead of print], 2013
 55. 福井大輔、川上 守、中尾慎一、宮本 選、森下詔子、松岡淑腰椎後側方固定術に対するバイポーラーシラーの有用性についての検討臨床整形外科 . 48; 1047-1052: 2013
 56. Shimoe T, Taniguchi Y, Yoshida M: Carpal Tunnel Syndrome in Patient with Hemihypertrophy: Case Report. Hand Surgery 18 (3):411-412, 2013
 57. 下江隆司 , 谷口泰徳 , 浅井宣樹 , 辻本修平 : 高齢者舟状骨偽関節に対する舟状骨摘出術 日手会誌 30:312-315, 2013
 58. 下江隆司 , 谷口泰徳 , 辻本修平 , 吉田宗人 : 橈骨頭切除術後晩期合併症として肘部管症候群を発症した例 . 日肘会誌 20:233-235, 2013
 59. 下江隆司 , 谷口泰徳 , 西秀人 , 浅井宣樹 , 辻本修平 , 吉田宗人 : 上腕骨顆上骨折後の橈骨神経麻痺に対して腱移行術を行った1例 . 中部整災誌 56:551-552, 2013
 60. 浅井宣樹 谷口泰徳、下江隆司、吉田宗人 : 母趾 MTP 関節部に発生した種子骨障害の1例 . 中部整災誌 56:431-432, 2013
 61. Teraguchi M, Yoshimura N, Hashizume H, Muraki S, Yamada H, Minamide A, Oka H, Ishimoto Y, Nagata K, Kagotani R, Takiguchi N, Akune T, Kawaguchi H, Nakamura K, Yoshida M: [Prevalence and distribution of intervertebral disc degeneration over the entire spine in a population-based cohort: the Wakayama Spine Study](#). Osteoarthritis Cartilage. 2014 Jan;22(1):104-10. 2013
 62. Teraguchi M, Yamada H, Yoshida M, Nakayama Y, Kondo T, Ito H, Terada M, Kaneoke Y: [Contrast enrichment of spinal cord MR imaging using a ratio of T1-weighted and T2-weighted signals](#). J Magn Reson Imaging. 2013 Nov 4. [Epub ahead of print], 2013
 63. 辻本修平、谷口泰徳、下江隆司、吉田宗人 : 月状骨三角骨解離に対して月状骨摘出術を施行した1例 . 整形外科 64:444-446, 2013
 64. 辻本修平、谷口泰徳、下江隆司、浅井宣樹、吉田宗人 : 足背部ガングリオンにより深腓骨神経障害を齎した例 . 中部整災誌 56:433-434, 2013
 65. 原田悌志、谷口泰徳、浅井宣樹、吉田宗人 : 脂肪腫に合併した肘部管症候群の1例 . 中部整災誌 56:603-604, 2013
 66. Yoshimura N, Akune T, Fujiwara S, Shimizu Y, Yoshida H, Omori G, Sudo A, Nishiwaki Y, Yoshida M, Shimokata H, Suzuki T, Muraki S, Oka H, Nakamura K: [Prevalence of knee pain, lumbar pain and its coexistence in Japanese men and women: The Longitudinal Cohorts of Motor System Organ \(LOCOMO\) study](#). J Bone Miner Metab. 2013 Nov 9. [Epub ahead of print], 2013
 67. 木下康正、松岡淑子、川上 守、中尾慎一、宮本 選、福井大輔 : 脊椎疾患患者の精神医学的問題は患者の満足度に

影響する : 中部整災誌 56:1129-1130, 2013.

68. 仲西信乃、山本達郎、安部洋一郎、大瀬戸清茂、重信恵一、大羽文博、新田一仁、福井 弥己郎 (聖)、賽子丸 稔、小泉 徹、津田圭一、小西宏明、川上 守 : Dekompressor を用いた経皮的髄核摘出術の検討: 日本ペインクリニック学会誌 20(1):12-16, 2013.
69. 榊原紀彦、笠井裕一、紺野慎一、高橋和久、千葉一裕、福井充、宮本雅史、種市洋、加藤圭彦、金森昌彦、金山雅弘、細野昇、竹下克志、田中信弘、橋爪洋、松永俊川上 守 : 日本整形外科学会腰痛評価質問票 (JOABPEQ)、日本整形外科学会頸髄症評価質問票 (QACMEQ) の認知度調査: J Spine Res 4:1388-1392, 2013.
70. 榊原紀彦、笠井裕一、紺野慎一、高橋和久、千葉一裕、福井充、宮本雅史、種市洋、加藤圭彦、金森昌彦、金山雅弘、細野昇、竹下克志、田中信弘、橋爪洋、松永俊二、川上 守 : 日本整形外科学会腰痛評価質問票 (JOABPEQ)、日本整形外科学会頸髄症評価質問票 (JOACMEQ) の認知度調査 J Spine Res 4:1388-1392, 2013.
71. Suzuki M, Orita S, Miyagi M, Ishikawa T, Kamoda H, Eguchi Y, Arai G, Yamauchi K, Sakuma Y, Oikawa Y, Kubota G, Inage K, Sainoh T, Kawarai Y, Yoshino K, Ozawa T, Aoki Y, Toyone T, Takahashi K, Kawakami M, Ohtori S, Inoue G.: Vertebral compression exacerbates osteoporotic pain in an ovariectomy-induced osteoporosis rat model.: Spine 38(24):2085-2091, 2013.
72. 金森昌彦、福井 充、千葉一裕、川上 守、宮本雅史、中井定明、嶋村 正、田口敏彦、竹下克志、田中靖久、谷 俊一、谷口慎一郎、和田英路、米延策雄、紺野慎一、高橋和久、椎間板ヘルニア手術に対する患者の満足度と日本整形外科学会腰痛評価質問票 (JOABPEQ) における評価. 別冊整形外科 63:50-54, 2013.
73. Ito Z, Matsuyama Y, Shinomiya K, Ando M, Kawabata S, Kanchiku T, Saito T, Takahashi M, Taniguchi S, Yamamoto N, Yamada K, Kida K, Fujiwara Y, Kobayashi S, Satomi K, Tani T. [Usefulness of multi-channels in intraoperative spinal cord monitoring: multi-center study by the monitoring committee of the Japanese Society for Spine Surgery and related research.](#) Eur Spine J. 2013.22:1891-6.
74. 嶋田 亘、河合将紀、菊池 啓、伊藤靖宣、三平 整、辻本晴俊 : 内視鏡下ヘルニア髄核摘出術における外側アプローチの 4 例 . 中部整災誌 56 巻 : pp. 1511-1512, 2013
75. Sangadala S, Yoshioka K, Enyo Y, Liu Y, Titus L, Boden SD: Characterization of a unique motif in LIM mineralization protein-1 that interacts with jun activation-domain-binding protein 1. Mol Cell Biochem. 2014 Jan;385(1-2):145-57.
76. Yoshimura N, Nagata K, Muraki S, Oka H, Yoshida M, Enyo Y, Kagotani R, Hashizume H, Yamada H, Ishimoto Y, Teraguchi M, Tanaka S, Kawaguchi H, Toyama Y, Nakamura K, Akune T: Prevalence and progression of radiographic ossification of the posterior longitudinal ligament and associated factors in the Japanese population: a 3-year follow-up of the ROAD study. Osteoporos Int. 2014 Mar;25(3):1089-98.
77. Muraki S, Akune T, En-yo Y, Yoshida M, Tanaka S, Kawaguchi H, Nakamura K, Oka H, Yoshimura N: Association of dietary intake with joint space narrowing and osteophytosis at the knee in Japanese men and women: the ROAD study. Mod Rheumatol. 2014 Mar;24(2):236-42.
78. Nishio N, Taniguchi W, Sugimura YK, Takiguchi N, Yamanaka M, Kiyoyuki Y, Yamada H, Miyazaki N, Yoshida M, Nakatsuka T : Reactive oxygen species enhance excitatory synaptic transmission in rat spinal dorsal horn neurons by activating TRPA1 and TRPV1 channels. Neuroscience 247: 201-12, 2013.

その他の論文 (症例報告等)

1. 川上 守 : 腰部脊柱管狭窄症に対する理学療法有効例の多面的評価法を用いた検討に関する研究 : 厚生労働化学研究費補助金 慢性の痛み対策研究事業「慢性疼痛の多面的評価システムの開発と客観的評価法の確立に対する研究」平成 24 年度総括・分担研究報告書 3-4, 2013.

2. Mamoru Kawakami, Shin-ichi Nakao, Daisuke Fukui: Modified Marmot operation versus spinous process transverse cutting laminectomy for lumbar spinal stenosis: Proceeding of American Academy of Orthopaedic Surgeons 2013, 857-8, 2013.
3. M Kawakami, S Nakao, E Miyamoto, D Fukui, Y Kinoshita, T Matsuoka: Minimally invasive surgery for lumbar spinal stenosis - Modified Marmot operation versus spinous process transverse cutting laminectomy: ISASS 13 Full Abstract Book:52-53, 2013.
4. 川上 守、中尾慎一、宮本 選、木下校正、森下詔子、松岡瀧間以上の腰部脊柱管狭窄症に対するMarmot変法—片側進入棘突起横切後方除圧術と比較Spine Research 4(3):617, 2013.
5. 川上 守、中尾慎一、宮本 選、木下校正、森下詔子、松岡瀧間急性頸髄症に対する後方除圧—セラミックスプレーサーを用いた形成術と単純な観音開き式との比較: J Spine Research 4(3):694, 2013.
6. 川上 守 : あなたの腰痛—「ヘルニア」から「狭窄」へ : JA 紀北かわかみ「トライアングル」6月号
7. 川上 守、中尾慎一、宮本 選、木下康正、松岡瀧間尾症状を有する3 椎間以上の腰部脊柱管狭窄症に対する低侵襲手術—Marmot変法 : 日整会誌 87 (2):S383,2013.
8. 川上守 : 腰部脊柱管狭窄症 (LSS) に対するわれわれの治療戦略—心理評価から手術まで. Comotorium Letters 疼痛セミナーレポート vol. 3, 2013.12
9. 安藤宗治 , 玉置哲也 , 松本卓二 , 福井大輔 , 神埜聖治 : Br(E)-MsEP を用いた頸椎椎弓形成術後5 麻痺の危険因子の検討 . Journal of Spine Research4(3)706,2013
10. 安藤宗治 , 玉置哲也 , 松本卓二 , 麻殖生和博 , 福井大輔 , 神埜聖治 : 後頭骨・頸椎・胸椎後方固定術におけるデュアルロッドシステムの有用性の検討. Journal of Spine Research4(3) 601,2013
11. 安藤宗治 , 玉置哲也 , 松本卓二 , 福井大輔 , 神埜聖治 : 頸椎手術の術中モニタリングにおける Br(E)-MsEP のコントロールの検討. Journal of Spine Research4(3)382, 2013
12. 安藤宗治 , 玉置哲也 , 松本卓二 , 福井大輔 , 神埜聖治 , 佐々木俊二 : 脊椎手術における手術部位感染の対策 ステープルを用いた皮膚縫合は感染の危険因子になるか ? . 中部日本整形外科災害外科学会雑誌巻春季学会 121,2013
13. 橋爪 洋、岩崎 博、山田 宏、吉田宗人 : 脊椎外科 Q&A:L5/S 椎間孔部狭窄 . THE SPINE perspectives Vol.10, No.2:8-10, 2013
14. 峠康 , 井口智揮 , 神埜聖治 , 福井大輔 , 坂田亮介 , 松本卓二 , 安藤宗治 , 佐々木俊二 , 宮本選 , 山中学 : PIP、DIP 関節脱臼骨折に対する関節牽引装置による治療成績 . 和歌山医学57,2013
15. 松本卓二 , 安藤宗治 , 佐々木俊二 : 生活習慣病である糖尿病における大腿骨近位部骨折患者の骨折型の検討とHbA1cおよび空腹時血糖の比較検討 . 中部日本整形外科災害外科学会雑誌巻春季学会 94,2013
16. 松本卓二 , 峠康 : 生活習慣病である糖尿病合併患者における大腿骨近位部骨折の骨折型の特徴と術前血糖管理についての検討 . 骨折 35 S148,2013
17. 松本卓二 , 安藤宗治 , 神埜聖治 , 佐々木俊二 : 術後フェンタニル持続静脈投与に併用したドロペリドールにより錐体外路症状を呈した例 . 中部日本整形外科災害外科学会雑誌巻春季学会 54,2013
18. 松本卓二 , 安藤宗治 , 佐々木俊二 : 陳旧性胸髄損傷患者における第 2 腰椎圧迫骨折遷延治療に対するテリパラチド投与の有効性について . 中部日本整形外科災害外科学会雑誌巻春季学会 52,2013
19. 直川裕樹 南 晋司、平野三好、木下裕文 : 当院における人工膝関節置換術後感染の治療成績 . 中部整災誌 2013 ; 56 : 1031-1032.
20. 福井大輔 , 佐々木俊二 , 安藤宗治 , 峠康 , 松本卓二 , 坂田亮介 , 神埜聖治 , 玉井英伸 : 腓骨筋腱脱臼を伴った距骨外側突起骨折の例 . 中部日本整形外科災害外科学会雑誌3) 768,2013
21. 福井大輔 , 安藤宗治 , 松本卓二 , 神埜聖治 , 麻殖生和博 , 佐々木俊二 : びまん性特発性骨増殖症に発症した脊椎骨折の治療 . 中部日本整形外科災害外科学会雑誌巻春季学会 201,2013

22. 玉井英伸 , 福井大輔 , 安藤宗治 , 峠康 , 松本卓二 , 坂田亮介 , 石元優々 , 佐々木俊二 : DISH に合併した胸椎骨折に対し、経皮的固定術を行った一例 . 和歌山医学 38,2013
23. 西井 佑介 , 佐々木 俊二 , 安藤 宗治 , 峠 康 , 松本 卓二 , 坂田 亮介 , 福井 大輔 , 神埜 聖治 , 玉井 英伸 : 人工股関節置換後生じたcup のゆるみに対して Oblong cup を用いて再置換を行った1 例 . 和歌山医学 64(4)140,2013
24. 峯玉賢和、川上 守、中尾慎一、福井大輔、磯谷門阪泰憲、木下康正、三宅隆広、腰部脊柱管狭窄症による間欠跛行に対する理学療法の多面的評価を用いた検討 Spine Research 4(3):375, 2013.
25. 金森昌彦、福井 充、千葉一裕、川上 守、宮本雅史、中井定明、嶋村正、田口敏彦、竹下克志、谷 俊一、谷口慎一郎、和田英路、米延策雄、高橋和久、紺野慎一、金山 雅雅手術の効果に対するJOABPEQ の評価と患者満足度の整合性について : J Spine Research 4(3):500, 2013.

学会報告

a) 国際学会

1. Yoshida M: Long-term clinical outcomes after microendoscopic decompression surgery for lumbar spinal stenosis. 6th ISMISS combined with 5th TURKMISS Congress in Turkey on Minimal Invasive Spine Surgery. Cesme Sheraton Hotel, Izmir, Turkey, April 11-14 (2013)
2. Yoshida M: Lumbar foraminal stenosis- the clinical features, diagnosis and microendoscopic treatment. 6th ISMISS combined with 5th TURKMISS Congress in Turkey on Minimal Invasive Spine Surgery. Cesme Sheraton Hotel, Izmir, Turkey, April 11-14 (2013)
3. Yoshida M: Minimal invasive decompression of lumbar spinal stenosis .Minimal Invasive Spinal Surgery Symposium, Dept. Orthopaedics&Traumatology, Pamela Youde Nethersole Eastern Hospital, HongKong, January 31-February 1,(2013)
4. Yoshida M: Clinical diagnosis and surgical strategy to prevent the failed back surgery syndrome. The 2nd ACMISST 2013 JAPAN, The Meitetsu Inuyama Hotel, Aichi,Japan, March 28-30,(2013)
5. Mamoru Kawakami, Shin-ichi Nakao, Daisuke Fukui: Modified Marmot operation versus spinous process transverse cutting laminectomy for lumbar spinal stenosis: 2013 Annual meeting of American Academy of Orthopaedic Surgeons, Chicago, Illinois, March 19 - 23, 2013.
6. Mamoru Kawakami, Shin-ichi Nakao, Erabu Miyamoto, Daisuke Fukui, Yasumasa Kinoshita, Toshiko Matsuoka: Minimally invasive surgery for lumbar spinal stenosis - Modified Marmot operation versus spinous process transverse cutting laminectomy: ISASS13, Vancouver, British Columbia, Canada, April 3 - 5, 2013
7. Kawakami M, Nakao S, Fukui D, Miyamoto E, Kinoshita Y, Matsuoka T: Exposure of the paravertebral muscles affects clinical outcomes in patients with multi-levels lumbar spinal stenosis: Annual meeting of International Society for the Study of the Lumbar Spine, Scottsdale, Arizona, May 13 - 17, 2013.
8. Mamoru Kawakami, Shin-Ichi Nakao, Daisuke Fukui, Yuyu Ishimoto, Shoko Morishita, Toshiko Matsuoka: Modified Marmot operation for patients with more than three levels lumbar spinal stenosis: The 13th Annual Meeting of the PASMIS (Pacific and Asian Society of the Minimally Invasive Spine Surgery), 2013.8.1-3. Miyazaki
9. Yamada H, Terada M, Iwasaki H, Endo T, Nakao S, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Nishi H, Tsutsui S, Yoshida M : Improved diagnostic accuracy of lumbar foraminal stenosis by use of three-dimensional MR imaging: comparison with conventional MR imaging . International Society for the Study of the Lumbar Spine 2013, Scottsdale, USA, 2013
10. Yamada H, Yoshida M Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Nishi H, Kawai M, Iwasaki H, Tsutsui S, Enyo Y, Okada M and Endo T : A minimum 2-year follow-up result of posterior microendoscopic decompression surgery for lumbar foraminal and extraforaminal stenosis at L5-S1 . The13th pacific and asian society of minimally invasive spine surgery, 2013.8.Miyazaki

11. Hashizume H, Yoshimura N, et al. The Prevalence of Concomitant Osteoporosis and its Association with Low Back Pain and Health Related Quality of Life: The Wakayama Spine Study. International Society for the Study of Lumbar Spine Annual Meeting, May 13-17, 2013, Scottsdale, Arizona, USA
12. Hashizume H, Yamada H, et al. Correlation between Low Back Pain Intensity in Lumbar Spinal Stenosis Measured Using the Japanese Orthopedic Association Score and the Visual Analogue Scale. International Society for the Study of Lumbar Spine Annual Meeting, May 13-17, 2013, Scottsdale, Arizona, USA
13. Hashizume H, Teraguchi M. The Wakayama Spine Study –Cohort Profile. 1st Meeting of the International Spine and Pain Consortium (ISPC) -'Phenotypes Revisited' - 28-29 June 2013, Hong Kong (Invited Presentation)
14. Hashizume H, Yamada H, Oka H, Minamide A, Nakagawa Y, Nishi H, Iwasaki H, Tsutsui S, Yoshida M. Low Back Pain Intensity in Lumbar Spinal Stenosis Measured Using the Japanese Orthopaedic Association Score and the Visual Analogue Scale -Frequency Distribution and Correlation Between the Two Measurements. The 13th Annual Meeting of the Pacific and Asian Society of the Minimally Invasive Spine Surgery (PASMIS), Aug 1-3, Miyazaki, Japan
15. Hashizume H, Yamada H, Oka H, Minamide A, Nakagawa Y, Nishi H, Iwasaki H, Tsutsui S, Yoshida M. Low Back Pain Intensity in Lumbar Spinal Stenosis Measured by Using the Japanese Orthopaedic Association Score and the Visual Analogue Scale –Distribution, Responsiveness to the Surgery, and Correlation between the Two Measurement. The 9th Combined Congress of the Spine and Paediatric Sections (APOA), Aug 29-31, Kuching, Sarawak, Malaysia
16. Minamide A, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Nakagawa Y, Nishi H, Iwasaki H, Tsutsui S, Endo T, Enyo Y. Clinical outcomes more than 5 years after microendoscopic laminoplasty for cervical spondylotic myelopathy. 4th Annual Meeting of Cervical Spine Research Society Asia Pacific Section. April 11-13, 2013. Seoul, Korea.
17. Minamide A, Yoshida M, Nakagawa Y, Yamada H. Clinical Outcomes of Cervical Endoscopic Surgery for Patients with Cervical Spondylotic Myelopathy. 29th Annual Meeting of Cervical Spine Research Society –European Section. May 30-31, 2013. Bordeaux, France.
18. Minamide A, Yoshida M, Yamada H, Nakagawa Y, Hashizume H, Iwasaki H, Tsutsui S, Ishimoto Y, Okada S. Clinical Outcomes of Microendoscopic Laminotomy for Degenerative Lumbar Spondylolisthesis on Lysthetic Pathological Stages. International Society for Minimally Intervention in Spinal Surgery Japan. June 20-21, 2013. Sapporo, Japan
19. Nakagawa Y, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Minamide A, Kawai M, Iwasaki H, Tsutsui S : Cervical microendoscopic foraminotomy for cervical radiculopathy:comparison of gtraditional and current techniques . 13th annual meeting of the PASMIS, 2013. 8. 1-3, Miyazaki
20. Nakagawa Y, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Minamide A, Iwasaki H, Tsutsui S : C5 palsy following cervical microendoscopic laminoplasty(CMEL) . Society of Minimally Invasive Spine Surgery(SMISS) 2013, 11.1-3, Las Vegas, USA
21. Kawai M, Nomura K, Yoshida M, Yamada H, Okada M, Nakao S: Clinical results of thoracic micro-endoscopic laminectomy for the ossification of ligamentum flavum, The 2nd Asian Congress of Minimally Invasive Spine Surgery & Techniques combined with the 6th MISS Summit Forum, 2013.3.28-30, Meitetsu Inuyama Hotel, Aichi
22. Tsutsui S, Iwasaki H, Yamada H, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Nishi H, Yoshida M : Feasibility of novel transcranial electrical stimulation technique in intraoperative neurophysiologic monitoring during spinal surgery: Multi-train stimulation. 41th Annual meeting of Cervical Spine Research Society 2013. Dec. 5-7, Los Angeles, USA.
23. Abe T, Taniguchi W, Miyazaki N, Mine N, Takiguchi N, Yamanaka M, Yoshida M, Nakatsuka T : Patch-clamp analysis of anti-spasticity effect by baclofen in spinal ventral horn neurons, Neuroscience 2013, 2013.11, San Diego
24. Shin-ichi Nakao, Mamoru Kawakami, Daisuke Fukui: The effect of human parathyroid hormone (1-34) on spine fusion in an osteoporotic animal model: 2013 Annual meeting of Orthopaedic Research Society, San Antonio, Texas, January 25-29, 2013.
25. Shin-ichi Nakao, Mamoru Kawakami, Erabu Miyamoto, Daisuke Fukui, Yasumasa Kinoshita, Toshiko Matsuoka: A new

diagnostic method using the discriminant function based on the amplitude and peak latency of sensory nerve action potential of the superficial peroneal nerve for foraminal or xtraforaminal stenosis at the lumbosacral junction: Grobal Spine Congress 2013, Hong Kong, April 4 -6, 2013

26. Nakao S, Kawakami M, Fukui D : The effect of human parathyroid hormone (1-34) on spine fusion in an osteoporotic animal model: Annual metting of International ociety for the Study of the Lumbar Spine, Scottsdale, Arizona, May 13 – 17, 2013.
27. Taniguchi W, Nishio N, Takiguchi N, Yamanaka M, Kiyoyuki Y, Sakurai Y, Abe T, Mine N, Miyazaki N, Yoshida M, Nakatsuka T : Activation of TRPV1 channels is involved in knee osteoarthritis pain -in vivo patch-clamp analysis-. 43rd Annual Meeting of Society for Neuroscience, 2013.11, San Diego
28. Ishimoto Y, Yoshimura N, Muraki S, Yamada H, Nagata K, Hashizume H, Takiguchi N, Minamide A, Oka H, Kawaguchi H, Nakamura K, Akune T, Yoshida M : The prevalence of radiographic lumbar spinal stenosis and its associated clinical symptoms in a population-based cohort: The Wakayama Spine Study . International Society for the Study of the Lumbar Spine 2013, Scottsdale, USA, 2013
29. Keiji Nagata, Noriko Yoshimura, Shigeyuki Muraki, Hiroshi Hashizume, Hiroshi Yamada, Yuyu Ishimoto, Munehito Yoshida : The prevalence of radiographic tandem spinal stenosis in cervical and lumbar spines using whole spine MRI: A large population-based study . APOA SAWARAK, MALAYSIA, July 22, 2013
30. Fukui D, Kawakami M, Nakao S, Ando M, Sasaki S, Morishita S, Matsuoka T: Reducing blood loss using a bipolar sealer in lumbar posterolateral fusion: a randomized controlled trial: Annual metting of International Society for the Study of the Lumbar Spine, Scottsdale, Arizona, May 13 – 17,
31. Teraguchi M, Hashizume H, Yamada H, Muraki S, Yoshimura N, Yoshida M : Prevalence and distribution of intervertebral disc degeneration in the spine in a population-based cohort: The Wakayama Spine Study. International society for study of lumbar spine, 40th annual meeting 2013 5, Scottsdale, Arizona USA
32. Teraguchi M, Hashizume H, Yamada H, Muraki S, Yoshimura N, Yoshida M : Prevalence and distribution of intervertebral disc degeneration over the entire spine in a population-based cohort: The Wakayama Spine Study. North American Spine Society, 28th Annual Meeting 2013 10, New Orleans USA
33. Masakazu Minetama, Shin-ichi Nakao, Daisuke Fukui, Masa Sumiya, Takahiro iyake, Takashi Moriki, Yasunori Kadosaka, Yasumasa Kinoshita, Yoshiko Matsuoka, Mamoru Kawakami: Effectiveness of physical therapy for patients with intermittent claudication due to lumbar spinal stenosis: Grobal Spine Congress 2013, Hong Kong, April 4 -6, 2013
34. Samartzis D, Rajasekaran S, Kawaguchi Y, Acharya S, Kawakami M, Satoh S, Chen WJ, Park CK, Lee CS, Foocharoen T, Nagashima H, Kuh S, Zheng Z, Condor R, Ito M, Iwasaki M, Jeong JH, Luk KDK, Prijambodo B, Rege A, Jahng TA, Luo Z, sanawipas WA, Acharya N: Facet joint tropism and degenerative spondylolisthesis – a study from The AOSAP research collaboration: Annual metting of International Society for the Study of the Lumbar Spine, Scottsdale, Arizona, May 13 – 17, 2013.
35. Minetama M, Miyake T, Moriki T,; Sakon N, Kinoshita Y, Kadosaka Y, Matsuoka T, Nakao S, Fukui D, Kawakami M : Multimodal assessments of efficacy of physical therapy for patients with neurogenic claudication due to lumbar spinal stenosis: Annual metting of International Society for the Study of the Lumbar Spine, Scottsdale, Arizona, May 13 – 17, 2013.
36. Kiyoyuki Y, Yamanaka H, Kobayashi K, Taniguchi W, Nishio N, Okubo M, Nakatsuka T, Noguchi K: Leukotriene enhances NMDA induced inward currents of dorsal horn neurons in spinal cord of rats after peripheral nerve injury. 443rd Annual Meeting of Society for Neuroscience, 2013.11, San Diego
37. Endo, Shota Nakao, Megumi, Imanishi, Keiho, Yoshida, Munehito, Kioka, Masahiko, Minato, Kotaro, Matsuda, Tetsuya. Intraoperative Image Generation Methods Reflecting Shape Changes in Bone Cutting Procedures. 2013 IEEE EMBC Short Papers No. 3219.

[Workshop]

Yoshida M: Minimal Invasive Lumbar Spinal Surgery Workshop . Minimal Invasive Spinal Surgery Symposium, Dept. Orthopaedics&Traumatology, Pamela Youde Nethersole Eastern Hospital, January 31-February 1,(2013) HongKong

b) シンポジウム，学術講演等

1. 吉田宗人：腰椎椎間孔狭窄症の診断と治療 第 2 回口コモフォーラムN鳥取 ホテルサンルート米子 (2013.2)鳥取市
2. 吉田宗人：脊椎内視鏡下手術の進歩と治療戦術 第 40 回日本生体電気・物理刺激研究会 ウェスティン都ホテル京都，(2013.3)京都市
3. 吉田宗人：スポーツ選手の脊椎障害と内視鏡下手術 第 20 回川崎医科大学整形外科同門会 ホテルグランヴィア岡山，(2013.3)岡山市
4. 吉田宗人：腰椎椎間孔狭窄障害の診断と治療 昭和大学藤ヶ丘病院整形外科同門会 オンワード総合研究所 (2013.4)横浜市
5. 吉田宗人：脊椎内視鏡手術の進歩と課題 第 86 回日本整形外科学会学術総会 広島グリーンアリーナ，(2013.5)広島市
6. 吉田宗人：脊椎後方内視鏡下手術の進歩と治療戦略 京都整形外科医会学術講演会 ホテル日航プリンセス京都 (2013.10)京都市
7. 吉田宗人：腰部脊柱管狭窄症—疫学・自然経過を踏まえた治療法の選択 第 3 回沖縄運動器疾患セミナー 沖縄医師会館 (2013.10)沖縄県島尻郡
8. 吉田宗人：脊椎後方内視鏡下手術の進歩と治療戦略 第 8 回北九州整形外科手術セミナー リーガロイヤルホテル小倉 (2013.10)北九州市
9. 吉田宗人：アスリートにおける腰部椎間板ヘルニアの特徴と内視鏡下手術 第 24 回日本臨床スポーツ医学会 熊本市民会館 (2013.10)熊本市
10. 吉田宗人：スポーツ選手の脊椎障害と内視鏡下手術25年度第 2 回公益財団法人日本体育協会公認一ツドクター研修会 (中ブロック・和歌山) ホテルグランヴィア和歌山，(2013.11)和歌山市
11. 吉田宗人：脊椎後方内視鏡下手術—その適応と治療戦略— 第 24 回北陸脊椎脊髄外科研究会 ホテル金沢，(2013.12)金沢市
12. 吉田宗人：腰部脊柱管狭窄症に対する超音波骨メスを用いた脊椎内視鏡手術の実際と薬物療法 第 33 回香川整形外科セミナー かがわ国際会議場，(2013.12)高松市
13. 谷口泰徳、下江隆司、山中 学、辻本修平、浅井宣樹、吉田宗人：特発性手根管症候群の病態；横手根靭帯にみられる器質的変化の関与について。第 27 回東日本手外科研究会2013.1.26, 東京
14. 川上 守：慢性腰痛に対する診断と治療の問題点—心理評価の必要性248 回大阪臨床整形外科医会研修会: 第 248 回大阪臨床整形外科医会研修会2013.1. 大阪市
15. 川上 守：本当は怖い腰痛の話：紀北健康出前講座2013.3 九度山町
16. 川上 守：非特異的腰痛の疼痛発現機序解明とその治療日本臓器製薬株式会社基礎研究打ち合わせ会013.3. 兵庫県加東市
17. 川上 守：種々の腰痛診療ガイドラインからわかった非特異的腰痛 86 回日本整形外科学会イブニングセミナー2013.5. 広島市
18. 川上 守：登録時の注意点について、慢性腰痛患者17(オキシコドン塩酸塩徐放錠非がん性疼痛適応拡大治験開始時説明会 2013.6. 東京
19. 川上 守：腰部脊柱管狭窄症に対するわれわれの治療戦略—心理評価から手術まで：第 305 回岡山県臨床整形外科医会013.8 岡山市
20. Mamoru Kawakami: Classification & modern concept of idiopathic scoliosis: AOSpine Advances Course Yokohama 2013.9. 横浜市
21. 川上 守：慢性腰痛の診断と治療：神戸薬科大学エクステンション事業所慶和歌山支部薬剤師研修会 2013.10.和歌山市

22. 安藤宗治, 玉置哲也, 峠 康 : 当科で施行した脊髄機能モニタリングの有用性と問題点 . 第 43 回日本臨床神経生理学学会, 高知 2013.11
23. 安藤宗治, 玉置哲也, 山田 宏, 岩崎 博, 吉田宗人 : NAP を利用した L5 神経根症の障害部位診断 - 脊柱管内病変と椎間孔部病変の鑑別 - . 第 43 回日本臨床神経生理学学会, 高知 2013.11
24. 山田 宏 : 第 5 腰椎神経のダブルリージョンに対する脊椎内視鏡を用いた治療戦略 I . 第 1 回脊椎脊髄病研修コース 第 II コース : 日整会脊椎脊髄病医向けコース「腰椎椎間孔狭窄の診療」 - 特に脊柱管内狭窄併存例への対策 ,
25. 山田 宏 : 腰椎椎間孔狭窄に対する脊椎内視鏡を用いた手術戦略 . 第 4 回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー 2013.6.15 , 和歌山市
26. 山田 宏 : 3 次元 MRI を用いた新しい腰椎椎間孔狭窄の診断基準 . 第 1 回和歌山画像医学研究会 2013.7.6 , 和歌山市
27. 山田 宏 : 新しい腰椎椎間孔狭窄の診断と治療 . 第 19 回和歌山県有床診療所協議会 , 2013.8.31 , 和歌山市
28. 山田 宏 : 高齢者脊柱変形に対する治療戦略 . 和歌山県医師会整形外科部会講演会 - 骨粗鬆症セミナー 2013 - , 2013.12.5 , 和歌山市
29. 橋爪 洋 : 超高齢社会における運動器疾患の実態とその予防について . 平成 24 年度和歌山市医師会外科・整形外科部会総会 2013.2.16 , 和歌山市
30. 橋爪 洋 : 腰痛とその予防について—健康長寿を目指すために . 由良町社会福祉協議会 . 2013.7.17 , 和歌山県由良町
31. 峠康 : 手外科リハビリテーション . 第 102 回近畿手外科症例検討会 2013.7.7. 大阪
32. 峠康 : 関節リウマチの画像診断 . 和歌山市北部地区リウマチ FEL 勉強会 , 2013.9. 和歌山
33. 南出晃人, 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 中川幸洋 . 中等度腰椎変性すべり症に対する内視鏡的腰椎除圧術の有用性 . 第 10 回中部日本整形外科災害外科学術集会 2013.4.5-6. 和歌山市
34. Minamide A. The Significance and Clinical Outcome of Microendoscopic Spinal Decompressive Surgery for Spinal Disorders in Elderly Patients. 2nd Japan Association of Spine Surgery with Ambition (JASA). 2013, 8. 4-5. Tokyo (Asakusa)
35. Akihito Minamide : Instructional Course Lecture
18th Cervical Spinal Research Society Instructional Course Lecture. Surgical Technique - Posterior Cervical Foraminotomy. 2013. 12. 4. Los Angeles, CA, USA
36. 南出晃人 . 骨粗鬆症患者の腰痛に対するビスホスホネート製剤の使用経験 . 骨粗鬆症フォーラム Wakayama. 2012. 2. 28. 和歌山市 (ホテルグランヴィア和歌山)
37. 南出晃人 . 新しい腰痛ガイドラインにおける薬物療法の位置づけ . 腰痛 ATE セミナー . 2013. 3.30. 堺市 (ホテル・アゴラリージェンシー堺)
38. 南出晃人 . 骨粗鬆症に対する治療選択 保存加療と手術加療 . 桜井地区医師会学術講演会 2013.4.20. 桜井市 (奈良県) (桜井市まほろばセンター 第 4 研修室)
39. 南出晃人 . 骨粗鬆症治療における活性型ビタミン D₃ 製剤の位置づけ . 和歌山県医師会整形外科部会講演会 骨粗鬆症セミナー 2013 . 2013. 5.16. 和歌山市 (ホテルグランヴィア和歌山階 ル・グラン)
40. 南出晃人 . 腰部脊柱管狭窄症に対する脊椎内視鏡手術 椎間孔部狭窄の診断の進歩 . 第 3 回下鴨整形外科疾患フォーラム 2013.7.20 京都市 (御所西 京都平安ホテル 1 階)
41. 南出晃人 . 脊椎内視鏡手術の現状と展望 23 第 1 回弘前大学整形外科 夏の研修会 2013. 8.1-4 (講演 8.2) 弘前市 (ロマントピアそうま 会議室)
42. 中川幸洋, 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 西秀人 : 脊椎外科領域における周術期重篤合併症とその対策 第 10 回中部日本整形外科災害外科学会学術集会 2013.4.5-6、和歌山市
43. Nakagawa Y, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Minamide A, Nishi N, Kawai M, Iwasaki H, Tsutsui S, Endo T : Perioperative complications associated with cervical microendoscopic foraminotomy (CMEF) . ISMISS Japan, 2013.6.20-21, Sapporo, Japan.
44. Nakagawa Y, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Minamide A, Nishi H, Kawai M, Iwasaki H, Tsutsui S, Endo T :

Perioperative complications associated with cervical microendoscopic laminoplasty(CMEL) . ISMISS Japan, 2013.6.20-21, Sapporo, Japan.

45. 中川幸洋：私の考えている、行っているMISととくに局所骨移植の操作の際の工夫. 第 6 回関西・第 2 回中四国合同 MIS研究会 ,2013.7.6 大阪市
46. 中川幸洋：MEDによる椎弓切除のPros and cons . 第 11 回脊椎脊髄病研修コース III 脊椎内視鏡コース 2013.4.27 那覇市
47. 中川幸洋：腰椎椎間板ヘルニアに対する内視鏡下ヘルニア摘出術(D)のポイント . 第 4 回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー 2013.6.15 和歌山市
48. 中川幸洋：エキスパートディベート 「 MED vs PED 内視鏡手術の現状と未来」 『MED手術の現状と未来』 . 第6回 日本内視鏡低侵襲脊椎外科学会013.11.21-22
49. 中川幸洋：頸部脊髄症・神経根症に対する内視鏡下手術25第回大阪大阪臨床整形外科医会研修会13.11.30. 大阪市
50. Nakagawa Y : Perioperative complications and solutions in posterior lumbar microendoscopic surgery . 第 8 回中日脊柱外科新技術検討会 2013.12.6-8. 広州
51. 宮崎展行： Triathlon CS の有用性と患者満足度 Triathlon セミナー in 大阪 .2013,12,21 ,大阪市
52. 宮崎展行：どうして膝は痛むの？ 市民公開講座 「運動器の 10年・骨と関節の日」記念事業 2013.8.24 ,和歌山市

c) 全国学会

1. 谷口泰徳、下江隆司、吉田宗人 : 尺骨神経の走行異常を認めた肘部管症候群の2例 第 25 回日本肘関節学会学術集会 2013.2.9, 東京
2. 安藤宗治、玉置哲也、松本卓二、福井大輔、神埜聖治：頸椎手術の術中モニタリングにおけるMsEP のコントロールの検討 . 第 42回日本脊椎脊髄病学会、沖縄、2013.4
3. 安藤宗治、玉置哲也、松本卓二、麻殖生和博、福井大輔、神埜聖治：後頭骨・頸椎・胸椎後方固定術におけるデュアルロッドシステムの有用性の検討 . 第42回日本脊椎脊髄病学会、沖縄、2013.4
4. 安藤宗治、玉置哲也、松本卓二、福井大輔、神埜聖治(rE)-MsEP を用いた頸椎椎弓形成術後麻痺の危険因子の検討 . 第 42回日本脊椎脊髄病学会、沖縄、2013.4
5. 安藤宗治、玉置哲也、麻殖生和博、松本卓二：創縫合の違いによる脊椎手術後創部感染の検討 - ステープルとダーマボンドとの比較 . 第 48回日本脊髄障害医学会、福岡、2013.11
6. 山田 宏、吉田宗人、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、西 秀人、岩崎 博、筒井俊二、 延與良夫、遠藤 徹、木岡雅彦、石元 優々、瀧口 登、籠谷良平、寺口真年：腰椎手術後に新たに発生する神経障害性疼痛の病態と治療-新しい疾患概念としての術後性後根神経節関連神経痛 - . 第2回日本脊椎脊髄病学会 2013.4.26 , 宜野湾市
7. 山田 宏、吉田宗人、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、西 秀人、岩崎 博、筒井俊二、 延與良夫、遠藤 徹、木岡雅彦、石元 優々、瀧口 登、籠谷良平、寺口真年、正持田 3次元 MRI における腰椎椎間孔狭窄の新しい画像診断基準とその臨床的価値 第 42回日本脊椎脊髄病学会 2013.4.25 , 宜野湾市
8. 山田 宏、吉田宗人、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、西 秀人、岩崎 博、筒井俊二、 延與良夫、遠藤 徹、木岡雅彦、石元 優々、瀧口 登、籠谷良平、寺口真年、S1 腰椎椎間孔部狭窄に対する脊椎内視鏡手術の実際と中期臨床成績 第 42回日本脊椎脊髄病学会、 2013.4.26 , 宜野湾市
9. 山田 宏、吉田宗人、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、西 秀人、岩崎 博、筒井俊二、 延與良夫、遠藤 徹、木岡雅彦：新しい疾患概念としての術後性後根神経節関連神経痛 - 腰椎手術後に新たに発生する神経障害性疼痛 . 第 42回日本整形外科学会学術総会、 2013.5.25 , 広島市
10. 山田 宏、吉田宗人、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、西 秀人、岩崎 博、筒井俊二、 延與良夫、遠藤 徹、木岡雅彦、石元 優々、瀧口 登、籠谷良平、寺口真年、正持田 3次元 MRI を用いた腰椎椎間孔狭窄の新しい画像診断基準とその臨床的価値 第 86回日本整形外科学会学術総会 ,2013.5.24 , 広島市

11. 山田 宏、吉田宗人、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、西 秀人、岩崎 博、筒井俊二、 延與良夫、遠藤 徹：腰椎神経根障害に対する 3次元 MRI . 第 86回日本整形外科学会学術総会 ,2013.5.25 , 広島市
12. 山田 宏、吉田宗人、筒井俊二、岩崎 博、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、西 秀人：成人脊柱変形に対する XLIFの治療経験 . 第 22回日本脊椎インストゥルメンテーション学会013.10.24-26 , 高知市
13. 山田 宏、吉田宗人、筒井俊二、岩崎 博、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、西 秀人、 木岡雅彦、岡田紗枝：XLIF(eXtreme Lateral Interbody Fusion) の実際と導入初期の問題点について16 第日本内視鏡低侵襲脊椎外科学, 2013.11.22 , 神戸市
14. 橋爪 洋、石元優々ほか：大規模住民コホートにおける腰部脊柱管狭窄症と骨粗鬆症の実態調査 . 第 42回日本脊椎脊髄病学会学術集会 . 2013.4.25-27 , 沖縄
15. 橋爪 洋、山田宏ほか：腰部脊柱管狭窄症患者における スコア得点と VAS の関連について -1021名の解析より . 第2 回日本脊椎脊髄病学会学術集会013.4.25-27 , 沖縄
16. 橋爪 洋、吉村典子ほか：腰部脊柱管狭窄症と骨粗鬆症の合併は腰痛、 QOLと関連するか？ - 一般住民コホートを用いた横断的研究 - . 第 86回日本整形外科学会学術総会 ,2013.5.23-26 , 広島
17. 松本卓二、 峠康：生活習慣病である糖尿病合併患者における大腿骨近位部骨折の骨折型の特徴と術前血糖管理についての検討 . 第 39回 日本骨折治療学会 2013.6.27-29
18. 松本卓二 安藤宗治：四点支持器を使用した脊椎腹臥位手術における体圧と皮膚合併症の検討 . 第 48回 脊髄障害医学会 2013.11.14-15
19. 南出晃人、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、中川幸洋、西秀人、岩崎博、筒井俊二、遠藤徹、石元優々、岡田紗枝 . 腰椎変性すべり症に対する内視鏡下後方除圧術の中長期臨床成績の検討 . すべりの病期別が第の分析 86回日本整形外科学会学術総会2013. 5.23-26. 広島市
20. 南出晃人、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、中川幸洋、西秀人、岩崎博、筒井俊二、延與良夫、遠藤徹、石元優々、岡田紗枝 . 腰椎変性すべり症に対する内視鏡下後方除圧術後の中長期追跡調査 すべり病期が第の分析 日本脊椎脊髄病学会 . 2012. 4. 25-27. 沖縄県宜野湾市
21. 南出晃人、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、中川幸洋、西秀人、岩崎博、筒井俊二、延與良夫、遠藤徹 . 頸椎症性脊髄症に対する内視鏡下頸椎椎除圧術の長期臨床成績の検討 42回日本脊椎脊髄病学会 . 2013. 4. 25-27. 沖縄県宜野湾市
22. 南出晃人、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、中川幸洋、岩崎博 . 高齢者の頸髄症に対する脊椎内視鏡下手術の有用性の検討 . 第 121 回中部日本整形外科災害外科学術集会013. 10. 3-4. 名古屋市
23. 南出晃人、吉田宗人、山田宏、中川幸洋、橋爪洋、岩崎博 . 高齢者頸髄症に対する頸椎内視鏡下除圧術の有用性 48回 日本脊髄障害医学会 . 2013. 11. 14-15. 福岡市
24. 中川幸洋、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、西秀人、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、遠藤徹、石元優々、木岡雅彦：頸部脊髄症に対する内視鏡下椎弓形成術の周術期合併症と対策 2 第日本脊椎脊髄病学会2013.4.25-27、宜野湾市
25. 中川幸洋、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、西秀人、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、遠藤徹、石元優々、木岡雅彦：パーキンソン病患者における腰椎変性疾患における除圧手術の成績と問題点 回日本脊椎脊髄病学会2013.4.25-27、宜野湾市
26. 中川幸洋、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、西秀人、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、遠藤徹、石元優々、木岡雅彦：頸部脊髄症に対する後方内視鏡下手術の周術期合併症と対策 . 8 第回 日本整形外科学会学術総会、 2013.5.23-26、広島市
27. 中川幸洋： Debate: 中心性狭窄のない頸椎症性神経根症に対する治療は後方手術の方がよい 回 第 JASA、 2013.8.3-4、東京
28. 中川幸洋 吉田宗人 山田宏 橋爪洋 南出晃人 西秀人：頸部脊髄症に対する後方内視鏡下麻痺後の対策 . 第8 回日本脊髄障害医学会2013.11.14-15福岡
29. 西 秀人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、岩崎博、筒井俊二、石元優々、木岡雅彦、瀧口登、籠谷良平、寺口真年、吉田宗人：化膿性脊椎炎の治療期間に影響する因子の検討 . 第 42回日本脊椎脊髄病学会2013 . 4 . 宜野湾市
30. 河合将紀、野村和教、中村陽介、矢渡健一：脊椎内視鏡下に摘出し得た腰椎脊柱管内骨腫瘍の第 16回日本内視鏡低侵襲

脊椎外科学会 ,2013.11.21-22, 神戸ポートアイランド

31. 岩崎博 , 吉田宗人 , 山田宏 , 橋爪洋 , 南出晃人 , 中川幸洋 , 西秀人 , 筒井俊二 , 延與良夫 , 遠藤徹 , 石元優々 : 腰部脊柱管狭窄症における第 腰神経重複病変 (double lesion) の頻度 . 日本脊椎脊髄病学会 第42 回学術集会 , 2013.5. 那覇
32. 野村和教、吉田宗人、河合将紀、岡田基宏、中尾慎一、麻殖生 禰博施設で施行された脊椎内視鏡手術00 症例の検討 ~ 草創期から現在までの適応の変遷について -第 120 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集巻13.4.5 ~ 6, 和歌山市
33. 野村和教、吉田宗人、河合将紀、岡田基宏、中尾慎 脊椎内視鏡を用いた腰椎椎間板ヘルニア再手術のためのアプロ経子 骨的椎間板再摘出術 . 第 42 回日本脊椎脊髄病学会. 2013.4.25 ~ 27, 沖縄県宜野湾市
34. 野村和教、吉田宗人、河合将紀、岡田基宏、中尾慎手術を要した腰椎神経根直下ヘルニアが存在する椎間レベルにおいて、ス ポーツ選手では外側陥凹が深い特徴がある第 42 回日本脊椎脊髄病学会. 2013.4.25 ~ 27, 沖縄県宜野湾市
35. 野村和教、吉田宗人、河合将紀、矢渡健スポーツ選手の腰椎神経根直下ヘルニアと外側陥凹部の形状の関係に 第37 回日本整形外科スポーツ医学会学術集巻3.9.13 ~ 14, 名古屋市
36. 野村和教、吉田宗人、河合将紀、中村陽介、矢渡健 腰椎再発ヘルニアに対する内視鏡下経骨的椎間板再摘出術の臨床成績 第 16 回日本内視鏡低侵襲脊椎外科学会013.11.21 ~ 22, 神戸市 .
37. 筒井俊二、籠谷良平、山田宏、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、西秀人、岩崎博、遠藤徹、石元優々、木岡雅彦、石元優々、瀧口登 寺口真年、吉田宗人 : 変性側弯を伴う腰部脊柱管狭窄症患者に対する除圧術後の腰痛に関する検討 . 第 42 回日本日本脊 椎脊髄病学会、 2013. 4. 宜野湾市
38. 宮崎展行 阿部唯一 谷口隆哉 峰巨 三宅悠介 玉井英伸 原田悌二 吉田宗人 : TKA における大腿骨髄内flexible rod と rigid rod のサジタルアライメントの比較 .4第回日本人工関節学会 . 2013.2.22.-23 , 京都市
39. 宮崎展行 阿部唯一 谷口隆哉 峰巨 三宅悠介 吉田宗人 : TKA におけるrigid rod と flexible rod を用いた大腿骨コンポーネ ント設置角度の差異第86 回日本整形外科学会学術総会 .2013.5.23-26 , 広島市
40. 宮崎展行 , 阿部唯一 , 谷口隆哉 , 峰巨 , 三宅悠介 , 橋爪洋 , 岩崎博 , 吉田宗人 : 腰部脊柱管狭窄の有無が 人工膝関節全置換術の満足度に与える影響 .第回 日本関節鏡・ 膝・ スポーツ整形外科学会 , 2013.6. 札幌
41. 宮崎展行, 阿部唯一, 谷口隆哉, 峰巨, 三宅悠介, 曾根勝真弓, 橋爪洋, 岩崎博, 吉田宗人 : 腰部脊柱管狭窄症満足度 に与える影響 . 第 41 回日本関節病学会 2013.11.2-3 , 名古屋市
42. 宮崎展行 阿部唯一 宮本選 谷口隆哉 峰巨 三宅悠介 曾根勝真弓 吉田宗人 術後満足度と JHEQ の関連 . 第40 回日本股関節学会 ,2013.11.29.30 , 広島市
43. 延與 良夫 山田 宏 橋爪 洋 南出 晃人 中川 幸洋 西 秀人 岩崎 博 筒井 俊二 吉田 宗人 William C Hutton, Jung Hoon Kim : 腰部椎間孔狭窄の外側開窓術における新鮮屍体を用いた力学的検討2.第回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2013.4. 沖縄
44. 延與 良夫 山田 宏 橋爪 洋 南出 晃人 中川 幸洋 西 秀人 岩崎 博 筒井 俊二 吉田 宗人 William C Hutton, Jung Hoon Kim : 腰部椎間孔狭窄の外側開窓術における新鮮屍体を用いた力学的検討86 回日本整形外科学会学術集会 2013.5. 広島
45. 阿部唯一, 中塚映政, 谷口亘 , 瀧口登, 峰巨 , 山中学 , 宮崎展行, 吉田宗人 : 脊髄前角細胞に対するバクロフェン の抗痙縮メカニズム - patch-clamp 法による解析 - . 第 28 回日本整形外科学会基礎学術集巻13.10. 千葉
46. 中尾慎一、川上 守、宮本 選 : CT ミエログラフィーにおける軸荷重時の硬膜管および馬尾断面積に対する局所アライメント変化 の影響 : 第 28 回日整会基礎学術集会.2013.10. 千葉市
47. 中尾慎一、川上 守、宮本 選、石元優腰部脊柱管狭窄症に合併し、硬膜外背側に脱出した胸椎椎間板ヘルニア例第08 回日本脊髄障害医学会.2013.11. 福岡
48. 木岡雅彦、吉田宗人、山田宏 , 橋爪洋 , 南出晃人、中川幸洋、西秀人 , 筒井俊二、岩崎博 , 遠藤徹 : 脊椎内視 鏡手術におけるマルチスライスMRI と MDCT のフュージョン三次元画像の手術利用 . 第回日本 CAOS 研究会 . 2013.3 松山市

49. 木岡 雅彦 , 吉田 宗人 , 山田 宏 , 橋爪 洋 , 南出 晃人 , 中川 幸洋 , 西 秀人 , 岩崎 博 , 筒井 俊二 , 遠藤 徹 , 石元 優々 , 瀧口 登 , 寺口 真年 , 籠谷 良平 : 外科的局所解剖の理解が困難な腰椎椎間孔部狭窄症・脊椎内視鏡手術におけるマルチスライスMRIと MDCT のフュージョン三次元画像の有用性第42回日本脊椎脊髄病学会013.4.
50. 谷口 亘 , 瀧口 登 , 山中学 , 西尾 尚子, 清行 康邦, 櫻井 悠加, 吉田 宗人, 中塚 映政 : TRPV1チャネルを介した変形性膝関節症性疼痛 -in vivo パッチクランプ法を用いた解析 -. 第 35 回日本疼痛学会 ,2013.7.大宮
51. 谷口 亘 , 瀧口 登 , 山中学 , 西尾 尚子, 峰 巨 , 阿部 唯一 , 宮崎 展行 , 吉田 宗人 , 中塚 映政 : TRPV1チャネルは変形性膝関節症性疼痛を増強する-in vivo パッチクランプ法を用いた解析 -. 第 28 回日本整形外科学会基礎学術集会013.10. 千葉
52. 谷口 亘 , 杉村 弥恵, 山中学 , 西尾 尚子, 曾根 勝真弓, 吉田 宗人, 中塚 映政 : 情動中枢の帯状回は脊髄後角に下行性疼痛賦活系を形成する. 第 6 回日本運動器疼痛学会, 2013.12. 神戸
53. 峰 巨 , 宮崎 展行, 阿部 唯一, 谷口 隆哉, 三宅 悠介, 玉井 英伸, 吉田 宗人 : 80 歳以上の高齢者に対する人工股関節置換術がもたらす ADL・生命予後の調査. 第 43 回日本人工関節学会, 2013.2. 京都
54. 峰 巨 , 宮崎 展行, 阿部 唯一, 谷口 隆哉, 三宅 悠介, 吉田 宗人 : 整形外科手術に対する術後鎮痛の工夫 . 第 120 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会2013.4. 和歌山
55. 峰 巨 , 宮崎 展行, 阿部 唯一, 谷口 隆哉, 三宅 悠介, 井口 智揮, 橋爪 洋, 吉田 宗人 : 人工膝関節置換術の術後疼痛と患者予想との比較 . 第 5 回 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 ,2013.6. 札幌
56. 峰 巨 , 宮崎 展行, 阿部 唯一, 宮本 選, 谷口 隆哉, 三宅 悠介, 曾根 勝真弓, 吉田 宗人 : KT プレートを使用した再置換HA の術後成績 . 第 40 回日本股関節学会学術集会2013.11. 広島
57. 石元 優々 長田 圭司 山田 宏 橋爪 洋 南出 晃人 吉田 宗人 村木 重之 岡敬之 阿久根 徹 吉村 典子: 一般住民コホートにおけるMRI上の腰部脊柱管狭窄の有病率とその臨床症状との関係 Wakayama Spine Study . 第 86 回日本整形外科学会学術総会 ,2013.5 , 広島市
58. 石元 優々 長田 圭司 山田 宏 橋爪 洋 南出 晃人 吉田 宗人 村木 重之 岡敬之 阿久根 徹 吉村 典子: 画像診断上の腰部脊柱管狭窄の有病率と有症状者の頻度についてThe Wakayama Spine Study . 第 42 回日本脊椎脊髄病学会 2013.4.26 , 宜野湾市
59. Kitano T, Kida M, Okada Y, Yamada H, Saika S, Yoshida M: Impaired skin wound healing in inducible nitric oxide synthase knockout mice. The 45th Japanese Society for Connective Tissue Research, 2013.6, Wakayama
60. 長田 圭司, 橋爪 洋, 石元 優々, 山田 宏, 南出 晃人, 中川 幸洋, 河合 将紀, 筒井 俊二, 岩崎 博, 木岡 雅彦, 瀧口 登 吉田 宗人 : MRI を用いた大規模住民コホートにおける頸髄症の関連因子86 第日本整形外科学会学術総会 2013.5.17
61. 長田 圭司, 橋爪 洋, 石元 優々, 山田 宏, 南出 晃人, 中川 幸洋, 河合 将紀, 筒井 俊二, 岩崎 博, 木岡 雅彦, 瀧口 登 吉田 宗人 : 住民コホートにおける頸髄圧迫と腰部脊柱管狭窄の合併頻度回日本脊椎脊髄病学会 沖縄 2013.4.25
62. 長田 圭司, 橋爪 洋, 石元 優々, 山田 宏, 南出 晃人, 中川 幸洋, 河合 将紀, 筒井 俊二, 岩崎 博, 木岡 雅彦, 瀧口 登 吉田 宗人 : 住民コホートにおける頸髄圧迫、腰部脊柱管狭窄と歩行機能、体幹バランスとの関連 4第回日本脊椎脊髄病学会 沖縄 2013.4.25
63. 福井 大輔, 川上 守, 中尾 慎一, 石元 優々, 松岡 淑子 : ラット腰椎椎間関節切除による腰椎不安定性モデルに生じた歩行障害の検討 : 第 21 回日本腰痛学会 .2013.11. 東京
64. 下江 隆司, 谷口 泰徳, 西 秀人 , 浅井 宣樹, 辻本 修平, 吉田 宗人: 上腕骨顆上骨折後の橈骨神経麻痺に対して腱移行術を行った 1 例 . 第 25 回日本肘学会学術集会, 2013.2.8. 東京
65. 下江 隆司, 谷口 泰徳, 浅井 宣樹, 辻本 修平, 吉田 宗人: 橈骨頭切除術後晩期合併症として肘部管症候群を発症例た 第 25 回日本肘学会学術集会, 2013.2.9. 東京
66. 下江 隆司, 谷口 泰徳 , 原田 悌志, 吉田 宗人 : Cushing 症候群に合併したキーンベック病の例 . 第 56 回日本形成外科学会学術集会,2013.4.4. 東京
67. 下江 隆司, 谷口 泰徳, 辻本 修平, 原田 悌志, 吉田 宗人: 脂肪腫による Guyon 管症候群の 1 例 . 第 56 回日本形成外科学

- 会学術集会 ,2013.4.4. 東京
68. 下江隆司, 谷口泰徳, 浅井宣樹, 辻本修平, 吉田宗人: 高齢者舟状骨偽関節に対する舟状骨切除術 56回日本手外科学会学術集会,2013.4.19. 神戸
69. 岡田紗枝、南出晃人、山田宏、橋爪洋、中川幸洋、西秀人、岩崎博、筒井俊二、遠藤徹、石元優々：腰椎変性すべりに対する内下後方除圧術の成績（腰痛から分析）42回日本日本脊椎脊髄病学会2013. 4. 宜野湾市
70. 浅井宣樹 谷口泰徳 下江隆司 三宅悠介 吉田宗人：外傷後に発生した足関節インピンジメント障害の 1 例第 38 回日本足の外科学会 2013.11 仙台市
71. Teraguchi M, Yoshimura N, Hashizume H, Muraki S, Yamada H, Minamide A, Oka H, Ishimoto Y, Nagata K, Kagotani R, Takiguchi N, Akune T, Yoshida M : Prevalence and distribution of intervertebral disc degeneration in the spine in a population-based cohort in Japan: The Wakayama Spine Study. 第 42 回日本脊椎脊髄病学会, 2013. 4, 沖縄
72. 寺口真年 山田 宏 吉田宗人 伊東秀文 寺田正樹 金桶吉起：脊髄 T1/T2 比画像法 (spinal myelin mapping) による頸髄内病変の局在化と定量的評価の試み第 42 回日本脊椎脊髄病学会, 2013. 4, 沖縄
73. 寺口真年 橋爪 洋 山田 宏 吉村典子 村木重之 吉田宗人：全脊柱 MRI における変性椎間板の分布と有病率、関連因子について -The Wakayama Spine Study-. 第 86 回日本整形外科学会学術総会 2013.5, 広島
74. 寺口真年 山田 宏 吉田宗人 伊東秀文 寺田正樹 金桶吉起：脊髄 T1/T2 比画像法 (spinal myelin mapping) による頸髄内病変の局在化と定量的評価の試み第 86 回日本整形外科学会学術総会 2013.5, 広島
75. 辻本修平 谷口泰徳 下江隆司 浅井宣樹 吉田宗人：外反母趾手術後の内反母趾変形に対する治療経験 . 第 121 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会 2013.10.3. 名古屋
76. 辻本修平 谷口泰徳 下江隆司 浅井宣樹 吉田宗人：足背部ガングリオンにより深腓骨神経障害を来した 1 例第 56 回日本形成外科学会学術州会 ,2013.4.3. 東京
77. 辻本修平 谷口泰徳 下江隆司 浅井宣樹 吉田宗人：病的骨折を伴った手指内軟骨腫の治療 . 第 56 回日本形成外科学会学術州会 ,2013.4.3. 東京
78. 佐々木貴英 , [北野陽二](#) , [中村正亨](#) , [辻本修平](#) : 皮膚壊死・腱融解をきたした小児マムシ咬傷例. 第 27 回日本外傷学会総会・学術集会 2013.5
79. 曾根勝真弓、松崎交作、山崎悟、納田和博、岡田基宏、中谷匡登、岩橋弘樹、吉田宗人：可変性ネット構造の TaperLock 型ステムを用いた、two incision アプローチによる MIS THA の術後成績 . 第 43 回人工関節学会 , 2013.2. 京都
80. 峯玉賢和、川上守、中尾慎一、福井大輔、門阪泰憲、木下康正、三宅隆広、松岡淑子 : 腰部脊柱管狭窄症に対する理学療法の満足度に影響する因子—前向き研究 第 21 回日本腰痛学会 .2013.11. 東京
81. 森下詔子、田所真紀、松岡淑子、堀江佳代子、中尾慎一、石元優々、川上 守 : 介護職員の腰痛実態調査 第 21 回日本腰痛学会 .2013.11. 東京
82. 森下詔子、堀江佳代子、松岡淑子、石元優々、中尾慎一、川上 守 : 和歌山県紀北地方の看護職員の腰痛実態調査第 6 回日本運動器疼痛学会 .2013.12. 神戸
83. 峯玉賢和、川上 守、中尾慎一、福井大輔、門阪泰憲、木下康正、三宅隆広、森木貴司、左近奈菜、松岡淑子 : 腰部脊柱管狭窄症に対する理学療法の心理的因子の影響—前向き研究第 6 回日本運動器疼痛学会 .2013.12 神戸
84. 山田 圭、小林 祥、田所伸朗、和田簡一郎、村本明生、岩崎 博、寒竹 司、関 庄二、平尾雄二郎、溝田敦子、安藤宗治、太田亮、松山幸弘：側彎症手術における脊髄モニタリングのアラームポイントの検討 - 日本脊椎脊髄病学会脊髄モニタリング委員会設研究の結果から - . 第 43 回日本臨床神経生理学学会、高知 2013.11
85. 伊藤全哉、松山幸弘、四宮謙一、安藤宗治、川端茂徳、寒竹 司、木田和伸、齋藤貴徳、小林 祥、和田簡一郎、藤原 靖、山田圭、山本直也、里見和彦、谷俊一：術中アラームポイントの策定及び総括 - 脊椎脊髄病学会モニタリング委員による多施設調査 第 43 回日本臨床神経生理学学会、高知 2013.11
86. 小林 祥、松山幸弘、安藤宗治、和田簡一郎、高橋雅人、谷 俊一：多施設前向き研究による術中脊髄モニタリングのアラームポイント . 第 8 回日本脊髄障害医学会、福岡、2013.11

87. 藤原靖、[松山幸弘](#)、小林祥、[四宮謙一](#)、[川端茂徳](#)、[安藤宗治](#)、[齋藤貴徳](#)、[山本直也](#)、木田和伸、山田圭、寒竹司、和田簡一、[伊藤全哉](#)、村本明生、[里見和彦](#)、[谷俊一](#)：脊髄髄内腫瘍摘出術における術中脊髄モニタリング新アラームポイント70°振幅上低下」の有用性 - 日本脊椎脊髄病学会多施設共同研究42回編本脊椎脊髄病学会、沖縄、2013.4
88. [松山幸弘](#)、小林祥、[四宮謙一](#)、[川端茂徳](#)、[安藤宗治](#)、寒竹司、[齋藤貴徳](#)、高橋雅人、[伊藤全哉](#)、村本明生、谷口慎一郎、藤原靖、山田圭、和田簡一郎、[山本直也](#)、[里見和彦](#)、[谷俊一](#)：多施設前向き研究による術中脊髄モニタリング(BR(E)-MsEP) のアラームポイント . 第42回日本脊椎脊髄病学会、沖縄、2013.4
89. [伊藤全哉](#)、[松山幸弘](#)、[四宮謙一](#)、[川端茂徳](#)、[安藤宗治](#)、[齋藤貴徳](#)、[山本直也](#)、山田圭、寒竹司、谷口慎一郎、木田和伸、藤原靖、和田簡一郎、小林祥、[里見和彦](#)、[谷俊一](#)：胸椎 POLL 手術における脊髄モニタリングの多施設前向き研究 - 後ろ向き研究と比較して - . 第42回日本脊椎脊髄病学会、沖縄、2013.4
90. 小林祥、[松山幸弘](#)、[四宮謙一](#)、[川端茂徳](#)、[安藤宗治](#)、寒竹司、[齋藤貴徳](#)、高橋雅人、[伊藤全哉](#)、藤原靖、木田和伸、山田圭、和田簡一郎、[山本直也](#)、[里見和彦](#)、[谷俊一](#)：術後麻痺を回避することができた術中脊髄モニタリング 42回編本脊椎脊髄病学会、沖縄 2013.4
91. 小林祥、[松山幸弘](#)、[四宮謙一](#)、[川端茂徳](#)、[安藤宗治](#)、[齋藤貴徳](#)、[伊藤全哉](#)、藤原靖、山田圭、[山本直也](#)、[谷俊一](#)：多施設前向き研究による術中脊髄モニタリング (BR(E)-MsEP) のアラームポイント . 第6回日本整形外科学会、広島、2013.5
92. 矢渡健一、河合将紀、野村和教、中村陽介、吉田宗人：内視鏡下に摘出し得た急性脊髄硬膜外血腫 第 16 回日本内視鏡低侵襲脊椎外科学会 , 2013.11.21-22 , 神戸ポートアイランド
93. 中村陽介、河合将紀、野村和教、矢渡健一、吉田宗人：頸髄症、腰部脊柱管狭窄症重複症例に対しトリプルタンドム手術を行った例 , 第 16 回日本内視鏡低侵襲脊椎外科学会 13.11.21-22 , 神戸ポートアイランド
94. 櫻井悠加、谷口亘：神経障害性疼痛モデルラットに対する鍼刺激の鎮痛機序 -in vivo パッチクランプ法による解析 -. 第 62 回全日本鍼灸学会学術大会2013.6. 福岡
95. 清行康邦、山中博樹、小林希美子、谷口亘、西尾尚子、大久保正道、中塚映政、野口光一：ロイコトリエンは末梢神経損傷後に脊髄後角ニューロンの NMDA 受容体の反応性を増加させる 第 5 回日本疼痛学会 , 2013.7. 大宮
96. 清行康邦、山中博樹、小林希美子、谷口亘、大久保正道、中塚映政、野口光一：ロイコトリエンは末梢神経損傷後に脊髄後角ニューロンの NMDA 受容体の反応性を増加させる 第 6 回日本運動器疼痛学会, 2013.12. 神戸

[パネルディスカッション]

1. 吉田宗人：腰椎の minimally invasive surgery 第 86 回日本整形外科学会学術総会 (2013.5) 広島市
2. 谷口泰徳、下江隆司、山中 学、辻本修平、浅井宣樹、吉田宗人：Kienbock 病治療の現況；高齢者 Kienbock 病に対する保存的治療 . 第 56 回日本手外科学会学術集会, 2013.4.19, 神戸市
3. 安藤宗治、玉置哲也、岩崎博、吉田宗人：感覚神経活動電位を用いた腰椎椎間孔部狭窄症の診断 第 86 回日本整形外科学会、広島 2013.5
4. 西 秀人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、岩崎博、筒井俊二、木岡雅彦、寺口真年、籠谷良平、若 藤雅彦患者における周術期全身評価ならびに合併症の検討 . 第 41 回日本関節病学会 2013 . 11 . 名古屋市
5. [谷口隆哉](#)、[宮崎展行](#)、[阿部唯一](#)、[峰巨](#)、[三宅悠介](#)、[吉田宗人](#)：術後感染予防 私はこうしている 当科における人工股関節置換術後感染に対する二期的再置換術の検討 第 3 回人工関節学会 , 2013.2. 京都
6. [谷口隆哉](#)、[宮崎展行](#)、[南晋司](#)、[谷口亘](#)、[峰巨](#)、[三宅悠介](#)、[吉田宗人](#)：当科における人工股関節置換術後感染に対する治療成績 . 第 120 回中部整形外科災害外科学会 2013.4. 和歌山

d) 地方学会

1. 山田 宏、吉田宗人、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、西 秀人、岩崎 博、筒井俊二、遠藤徹、木岡雅彦、石元優々、長田圭司、瀧口登、籠谷良平、寺口真年、石口明：軸椎歯突起後方偽腫瘍に対する低侵襲手術10 第和歌山 MIOS フォーラム , 2013.1.19 , 和歌山市

2. 山田 宏、吉田宗人、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、西 秀人：腰椎椎間孔部狭窄に対する新しいサージカルアプローチ - 横突起・椎弓根尾側切除法 - . 第20 回中部日本整形外科災害外科学会Q13.4.7, 和歌山市
3. 峠康、井口智揮、神埜聖治、福井大輔、坂田亮介、松本卓二、安藤宗治、佐々木俊二、宮本選PI山中学)P 関節脱臼骨折に対する関節牽引装置による治療成績 . 第 1 0 回和歌山最小侵襲整形外科フォーラム , 2013.1. 和歌山
4. 峠康、神埜聖治、井口智揮、宮本選、山中学、佐々木俊二PIP , DIP 関節脱臼骨折に対する関節牽引装置による治療成績 第 1 2 0 回中部日本整形外科災害外科学会Q13.4. 和歌山
5. 松本卓二 安藤宗治 峠 康 佐々木俊二：陳旧性胸髄損傷患者に発症した第2腰椎圧迫骨折遷延治癒に対するテリパラチド投与の有効性 . 第 120 回 中部日本整形外科災害外科学会 2013.4.5-6
6. 松本卓二 安藤宗治 神埜聖治 佐々木俊二：術後フェンタニル持続静脈投与に併用したドロペリドールにより錐体外路症状を呈した 2 例 . 第 120 回 中部日本整形外科災害外科学会 2013.4.5-6
7. 松本卓二 安藤宗治 佐々木俊二：生活習慣病である糖尿病合併患者における大腿骨近位部骨折の骨折型の特徴と術前血糖管理についての検討 . 第 121 回 中部日本整形外科災害外科学会 2013.10.2-4
8. 南出晃人、吉田宗人、須佐忠史、徳丸弘、岩崎一博粗鬆症性脊椎椎圧迫骨折に対する balloon Kyphoplasty (BKP) 術後に発生した再椎体骨折の経験 . 和歌山県整形外科医会学術集会 . 2013. 2.17. 和歌山県立医科大学高度医療人育成センター一階
9. 南出晃人、中川幸洋、遠藤 徹、岡田紗枝、原田悌二、木岡雅彦、吉田宗人CT Fusion 画像が診断と治療に有用であった腰部神経根奇形の1 例 . 第 10回和歌山低侵襲整形外科研究会2013. 1. 19. ビッグ愛
10. 中川幸洋 吉田宗人 山田宏 橋爪洋 南出晃人 河合将紀：頸椎神経根症に対する Cervical Microendoscopic Foraminotomy(CMEF) の術式改良とその効果 . 第21 回中部日本整形外科災害外科学会学術集会Q13.10.3-4. 、名古屋市
11. 西 秀人、橋爪洋、瀧口登、岩崎博、山田宏、吉田宗人：感染性心内膜炎を合併した脊椎感染症の1例 . 第10回中部日本整形災害外科学会、 2013 . 4 . 6 和歌山市
12. 北野陽二：橈骨遠位端骨折に対するAcu-loc distal radius plate 抜釘の必要性についての検討 . 中部整形災害外科学会、 2013.4.5
13. 北野陽二 辻本修平 岩田勝栄：橈骨遠位端骨折に対する Acu-loc distal radius plate 抜釘の必要性についての検討 . 中部整形災害外科学会 . 2013.4.5
14. 岩崎 博、吉田宗人、山田 宏、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋：第5 腰神経重複病変(double lesion) に対する脊椎内視鏡同時進行手術 (tandem operation). 中部日本整形外科災害外科学会 第 120 回学術集会 , 2013.4. 和歌山
15. 岩崎 博、山田 宏、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、吉田宗人：バイポーラー型凝固撮子を利用した腰椎椎間孔部狭窄症に対する術中電気生理学的診断法 . 中部日本整形外科災害外科学会 第 121 回学術集会 , 2013.10. 名古屋
16. 野村和教、河合将紀 . 脊椎内視鏡手術の危機管理 ~ 蓋然性の低い機器トラブルにどのように備えるか?第10回和歌山最小侵襲整形外科フォーラム. 2013 年 1 月 19 日、和歌山市
17. 筒井俊二、山田宏、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、吉田宗人：変性側弯を伴う腰部脊柱管狭窄症患者の臨床徴候に関する検討 第 120 回中部日本整形外科災害外科学会学術集会Q13. 4. 和歌山市
18. 宮崎展行 , 谷口隆哉 , 峰巨 , 谷口亘 , 三宅悠介 , 吉田宗人：痛みの破局的思考からみたKKA に対する満足度 . 第 120 回中部日本整形外科災害外科学会Q13.4.7, 和歌山市
19. 高見正成 石口 明 金川建彦 長田圭司 岩田勝栄 久保井勇樹： Slot-scan digital radiography による正常日本人における脊椎矢状面アライメントの計測 . 第1 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会2013.10.3 名古屋国際会議場
20. 延與 良夫 山田 宏 橋爪 洋 南出 晃人 中川 幸洋 西 秀人 岩崎 博 筒井 俊二 吉田 宗人 William C Hutton, Jung Hoon Kim :腰部椎間孔狭窄の外側開窓術における新鮮屍体を用いた力学的検討 回中部日本整形外科災害外科学会学術集会 , 2013.4. 和歌山
21. 中尾慎一、川上 守、宮本選 : 胸髄膜腫と馬尾上衣腫の同時発症にて歩行障害をきたした1例 . 第 81回和歌山医学会総会 .2013.7 和歌山市

22. 中尾 慎一、川上 守、石元優々、宮本 選 : 腰部脊柱管狭窄症に合併し、硬膜外背側に脱出した胸椎椎間板ヘルニアの第442回整形外科集談会京阪神地方会 .2013.7 大阪市
23. 宮本 選 , 川上 守 , 中尾 慎一: 変性側弯症を伴う腰部脊柱管狭窄症に対する後方除圧固定術後、L1/2 椎間板ヘルニアによる右下肢麻痺を呈した一例 . 第141回整形外科集談会京阪神地方会013 . 2 . 大阪
24. 宮本 選 , 川上 守 , 中尾 慎一: 変性側弯症を伴う腰部脊柱管狭窄症に対する後方除圧固定術後、L1/2 椎間板ヘルニアによる右下肢麻痺を呈した一例 . 第3回和歌山県整形外科医会13 . 2 . 和歌山
25. 宮本 選, 中尾 慎一, 石元 優々, 福井 大輔, 川上 守: 脊柱変形を伴う腰部脊柱管狭窄症に対する除圧矯正固定術後椎間板ヘルニアによる下肢麻痺を呈した一例 . 第1回中部日本整形外科災害外科学会学術集会13.10 . 名古屋
26. 木岡 雅彦 , 山田 宏 , 橋爪 洋 , 中川 幸洋 , 南出 晃人 , 吉田 宗人 : 脊椎内視鏡手術におけるナビゲーションシステムを用いた治療戦略 . 第 120 回中部整形災害外科学会 2013.5 和歌山市
27. 直川 裕樹, 南 晋司, 平野三好, 木下 裕文: 当院における人工膝関節置換術後感染の治療成績 . 第 120 回中部日本整形外科災害外科学会 . 2013.4. 和歌山
28. 中村正亨: 大腿骨転子部骨折におけるT による術後整復位の評価 . 第4回和歌山整形外科医会 学術集会 . 2013.2.15
29. 峰 巨, 宮崎展行, 阿部唯一, 谷口隆哉, 谷口 亘, 三宅 悠介, 井口智揮, 吉田宗人 : 高齢者に対する TKA は ADL 維持に役立つか . 第 23 回和歌山県整形外科医会学術集会013.2. 和歌山
30. 峰 巨, 中塚映政, 谷口 亘, 宮崎展行, 阿部唯一, 瀧口 登, 山中昇, 曾根 勝真弓, 吉田宗人 : 脊髄前角におけるニコチン性アセチルコリン受容体によるシナプス伝達制御機構 2 回ニューロカンファレンス 和歌山013.12. 和歌山
31. 石元優々 長田圭司 山田宏 橋爪洋 南出晃人 吉田宗人 村木重之 岡敬之 阿久根徹 吉村典子: 画像診断上の腰部脊柱管狭窄の有病率と発症の頻度について The Wakayama Spine Study . 第 120 回中部日本整形外科災害外科学会 , 2013.4.7 , 和歌山市
32. 北野岳史, 坂田仁郎, 小島博嗣, 檀上茂人: 80 歳以上の高齢者に対するセメント固定人工骨頭置換術の検討 . 第 120 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会2013.4. 和歌山
33. 北野岳史, 坂田仁郎, 小島博嗣, 檀上茂人: 80 歳以上の高齢者に対するセメント固定人工骨頭置換術の検討 . 和歌山県整形外科医会学術集会 , 2013.2. 和歌山
34. 長田圭司, 橋爪洋, 石元優々, 山田宏, 南出晃人, 中川幸洋, 河合将紀, 筒井俊二, 岩崎博, 木岡雅彦, 瀧口登, 吉田宗人, 木岡敬之, 阿久根徹, 吉村典子: 規模一般住民コホートにおける全脊椎 RI を用いた頸髄圧迫および腰部脊柱管狭窄の合併頻度 . 第 120 回中部整形災害外科学会2013.4.2
35. 福井大輔, 安藤宗治, 松本卓二, 神埜聖治, 麻殖生和博, 佐々木俊二: びまん性特発性骨増殖症に発症した脊椎骨折の治療 . 整形外科災害外科学会 2013 春
36. 福井大輔 佐々木俊二, 安藤宗治, 峠 康, 松本卓二, 坂田亮介, 神埜聖治, 井口智揮, 玉井英伸: 腓骨筋腱脱臼を伴った距骨外側突起骨折の 1 例 . 和歌山整形外科医会013
37. 福井大輔 佐々木俊二, 安藤宗治, 峠 康, 松本卓二, 坂田亮介, 神埜聖治, 玉井英伸: 腓骨筋腱脱臼を伴った距骨外側突起骨折の 1 例の経験 . 京阪神集談会 2013.2
38. 橋本忠晃, 納田和博, 前田孝浩, 中村憲太, 窪田誠治, 寺尾賢秀 T 岡剛 TKA、大腿過剰骨折後に生じた大腿骨幹部骨折の 1 例, 和歌山県整形外科医会 第 23 回学術集会 2013.2.17 和歌山市
39. 下江隆司, 谷口泰徳, 浅井宣樹, 吉田宗人: 尺骨神経の走行異常を認めた肘部管症候群の例 . 第 120 回中部日本整形外科災害外科学会学術集会013.4.5. 和歌山
40. 下江隆司, 谷口泰徳 , 浅井宣樹, 辻本修平, 吉田宗人: 橈骨遠位端骨折に対する掌側ロックングプレート固定後に発生した長母指屈筋腱皮下断裂の 2 例 . 第 104 回関西形成外科学会学術集会 2013.7.21. 大阪
41. 下江隆司, 谷口泰徳 , 浅井宣樹, 辻本修平, 吉田宗人: 橈骨遠位端骨折に対する掌側ロックングプレート固定後に発生した長母指屈筋腱皮下断裂の 3 例 . 第 121 回中部日本整形外科災害外科学会学術集会13.10.4. 名古屋
42. 下江隆司, 谷口泰徳 , 浅井宣樹, 吉田宗人: 神経内ガングリオンによる足根管症候群の例 . 第 105 回関西形成外科学会

学術集会, 2013.12.7. 大阪

43. 岡田紗枝, 山田宏, 岩崎博, 吉田宗人: 単純線像から腰椎椎間孔狭窄を予測するための画像診断サポートツールの開発. 第 120 回中部日本整形外科災害外科学会学術集会 2013.4. 和歌山市
44. 岡田紗枝, 山田宏, 筒井俊二, 岩崎博, 南出晃人: JTE で良好な脊柱アライメントを獲得できた成人脊柱変形例. 第 81 回和歌山医学会総会 2013.7.7. 和歌山
45. 岡田紗枝, 中川幸洋, 南出晃人, 岩崎博, 山田宏, 橋爪洋, 河合将紀, 筒井俊二: 悪性リンパ腫による椎体破壊に対して経皮的根スクリューによる Minimally invasive spinal stabilization(MIST) を行った 1 例. 第 10 回和歌山 MIOS フォーラム, 2013.1.19, 和歌山市
46. 浅井宣樹 谷口泰徳 下江隆司 三宅悠介 吉田宗人: 外傷後に発生した足関節前方インピンジメント障害の 1 例. 第 81 回和歌山医学会総会 .2013.7 和歌山市
47. 浅井宣樹 谷口泰徳 下江隆司 山中 学 吉田宗人: 長期追跡した小児足部 run over injury の 1 例. 紀伊半島整形外科懇談会 2013.9 奈良
48. 浅井宣樹 谷口泰徳 下江隆司 山中 学 吉田宗人: 豆状骨三角骨間関節症により発生した小指屈筋腱皮下断裂の治療経験. 第 121 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会 2013.10 名古屋
49. 浅井宣樹 谷口泰徳 下江隆司 吉田宗人: 母趾 IP 関節に発生した粘液嚢腫の 1 例. 第 105 回関西形成外科学会学術集会 2013.12 大阪
50. 寺口真年 山田 宏 吉田宗人 伊東秀文 寺田正樹 金桶吉起: 脊髄 T1/T2 比画像法 (spinal myelin mapping) による頸髄内病変の局在化と定量的評価の試み 第 120 回中部日本整形外科災害外科学会 2013.4, 和歌山
51. 寺口真年 橋爪 洋 山田 宏 吉村典子 村木重之 吉田宗人: 全脊柱 MRI における変性椎間板の分布と有病率、関連因子について -The Wakayama Spine Study-. 第 120 回中部日本整形外科災害外科学会 2013.4, 和歌山
52. 寺口真年 山田宏 筒井俊二 前田孝浩 吉田宗人: 腹側硬膜に発生した胸髄嚢腫を安全かつ簡便に全摘出するための手術テクニック. 第 441 回整形外科集談会 京阪神地方会, 2013.2, 大阪
53. 寺口真年 山田 宏 筒井俊二 岡田紗枝 岩崎 博 吉田宗人: MRI 拡散強調画像が有用であった骨盤内神経鞘腫の例. 和歌山医学, 2013.7, 和歌山
54. 平一裕, [栗本公博](#), [土屋等](#), [遠藤徹](#): 多発骨折を伴った骨age病の一例. 第 120 回中部日本整形外科災害外科学会
55. 中村憲太: 小児 Monteggia 骨折に対してプレート固定で治療した例. 和歌山医学会総会 2013.7. 和歌山
56. [山中学](#), [谷口泰徳](#), [浅井宣樹](#), [吉田宗人](#): 屈筋腱鞘滑膜への石灰沈着による手根管症候群例. 第 81 回和歌山医学会総会, 2013.7.7. 和歌山
57. [山中学](#), [谷口泰徳](#), [浅井宣樹](#), [吉田宗人](#): 屈筋腱鞘滑膜石灰沈着による手根管症候群の例. 第 120 回中部日本整形外科災害外科学会学術集会 2013.4. 和歌山市
58. 辻本修平 谷口泰徳 下江隆司 浅井宣樹 原田 悌志 吉田宗人: 脂肪腫に合併した Guyon 管症候群の 1 例. 第 27 回東日本手外科研究会 2013.1.26, 東京
59. 前田孝浩, 井口智揮, 橋本忠晃, 納田和博, 窪田誠治, 寺尾賢秀: 高齢者の大腿骨近位部骨折における術前待機期間の違いが術後回復に及ぼす影響 第 81 回和歌山医学会総会 2013.7.7 和歌山市
60. 佐々木貴英, [北野陽二](#), [中村正亨](#), [辻本修平](#): Short femoral nail を用いた不安定型大腿骨転子部骨折の治療 8 例 第 81 回和歌山医学会総会 2013.7
61. 井口智揮, 宮崎展行, 阿部唯一, 谷口隆哉, 峯 巨, 三宅悠介, 滝口 登, 岡田紗枝, 吉田宗人, 櫻本 哲: Pilon 骨折に対し腸骨内板にて関節面の再建を行った例 第 81 回和歌山医学会総会 2013.7.7 和歌山市
62. 曾根勝真弓, 山崎悟, 岡田基宏, 中谷匡登, 岩橋弘樹, 松崎交作, 吉田宗人: 後の反復性脱臼に対し、前方アプローチによる cup revision THA を行った 2 例. 第 120 回中部整形外科災害外科学会 2013.4. 和歌山
63. 曾根勝真弓, 山崎悟, 岡田基宏, 中谷匡登, 岩橋弘樹, 松崎交作, 吉田宗人: 後の反復性脱臼に対し、前方アプローチによる cup revision THA を行った 2 例. 第 10 回和歌山 MIOS, 2013.1. 和歌山

64. 曾根勝真弓、宮崎展行、谷口隆哉、峰巨、三宅悠介、岩橋弘樹、吉田宗人：H側臥位における術前骨盤傾斜の検討 第 23 回和歌山県整形外科医会 2013.2 和歌山
65. 曾根勝真弓、峰巨、宮崎展行、阿部唯一、谷口隆哉、三宅悠介、吉田宗人：stem 周囲骨折に対し、cement-in-cement 法で再建した 1 例 . 第 81 回和歌山医学会総会 2013.7.7. 和歌山
66. 曾根勝真弓、宮崎展行、峰巨、阿部唯一、谷口隆哉、三宅悠介、吉田宗人：extended trochanteric osteotomy 後の偽関節に対して impaction bone graft を用いて再建した 1 例 . 和歌山県立医科大学整形外科学教室同門会研修会 10 籍運動機能傷害フォーラムわかやま, 2013.7.27 . 和歌山
67. 西井佑介、川上 守、中尾慎一、宮本選：運動療法中に股関節痛にて発症した恥骨結合炎の一例 . 第 23 回和歌山県整形外科医会学術集会 , 2013.2. 和歌山
68. 西井佑介、下江隆司、延輿良夫、加藤正哉：外傷後に脂肪塞栓による多発脳梗塞を疑った 14 回和歌山救急・災害医療研究会 , 2013.9. 和歌山
69. 西井佑介、佐々木俊二、安藤宗治、峠 康、松本卓二、坂田亮介、福井大輔、神埜聖治、玉井英伸：人工股関節置換後生じたのゆるみに対して Oblong cup を用いて再置換を行った 1 例 . 第 81 回和歌山医学会総会 2013.7. 7 和歌山市
70. 木下康正、松岡淑子、川上 守、中尾慎一、宮本 選、福井大輔：糖尿病患者の精神医学的問題は患者の満足度に影響する：第 120 回中部整災会 . 2013.4. 和歌山市
71. 嶋田 亘、河合将紀、菊池 啓、伊藤靖宣、三平 整、辻本晴俊：内視鏡下ヘルニア髓核摘出術における外側アプローチの第 120 回中部整形災害外科学会 2013. 4 .5-6, 和歌山市
72. 矢渡健一、河合将紀、野村和教、中村陽介、吉田宗人：頸椎症性神経根症に合併した急性脊髄硬膜外血腫の 442 回近畿集談会, 2013.7.20, 大阪市

e) その他 (研究会等)

1. 吉田宗人、川上守、山田宏、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、河合将紀、岩崎博、筒井俊二：脊椎内視鏡手術、股関節鏡、手関節鏡習 和歌山県立医科大学整形外科学教室 脊椎内視鏡 cadaver seminar 2013 (2013.1)
2. 吉田宗人：腰部脊柱管狭窄症—疫学 自然経過を踏まえた治療法の選択— 医療関係者用会員制サイト「ONO MEDICAL NAVI」(2013.3)
3. 吉田宗人、山田宏、南出晃人、中川幸洋、河合将紀、蜂谷裕道：腰椎模型を用いた脊椎広報内視鏡手術実習 . 第 4 回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー (2013.6)
4. 吉田宗人、中川幸洋、宮崎展行：整形外科外傷・手の外科における周術期管理のピットフォールと対策者における整形外科周術期管理 第 2 回和歌山整形外科周術期管理セミナー ホテルグランヴィア和歌山 (2013.11)
5. 吉田宗人：ラジオ「痛いの・痛い・飛んでけ！」 和歌山放送 月 1 回放送
6. 増田研一、貞方勇祐、有本次郎：慢性の足関節症状に対する低出力レーザーの効果 第 ~ 重心動揺製を指標にして~ . 第 27 回関西臨床スポーツ医・科学研究会 2013.6.
7. 南出晃人 . 第 4 回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー 2012. 6. 22-23. 和歌山市
8. 中川幸洋：脊椎内視鏡手術コース・技術講習 11 籍脊椎脊髄病研修コース, 2013.4.27 那覇市
9. 中川幸洋：第 4 回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー 2013.6.15 和歌山市
10. 西 秀人：「最新の腰痛の診断・病態」 第 7 回最新の医療カンファレンス 2013 . 11 和歌山市
11. 西 秀人：関節リウマチと骨粗鬆症 . リウマチ友の会和歌山支部 療養講演会 2013 . 6 和歌山市
12. 北野陽二：整形外科に於ける NPWT の試み . 第 2 回和歌山創傷治療を考える会 2013.11.23
13. 河合将紀： PED system : 器械と基本手技、pitfall , カダバセミナー 2013, 2013. 1. 25, 和歌山市
14. 河合将紀： METRx システムを用いた脊椎内視鏡下後方手術 徳根大学医学部整形外科学教室講演会 2013.2.6, 出雲市
15. 河合将紀：内視鏡下腰椎椎間板ヘルニア摘出術 (ID) ライブサージェリー , 第 4 回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー, 2013.6.14-15, 和歌山市

16. 宮崎展行 阿部唯一 谷口隆哉 峰巨 三宅悠介 吉田宗人：侵襲操作を加味したDall の骨片固定法の成績 . 第 3 回ドール手術手技研究会 2013.3.30 . 大阪市
17. 谷口亘 , 瀧口登 , 山中学 , 西尾尚子, 吉田宗人, 中塚映政 : TRPV1は変形性膝関節症を増強するin vivo パッチクランプ法を用いた解析 -. 第 11 回整形外科痛みを語る会2013.7. 郡山
18. 峰 巨 : 豚皮を使用した真皮縫合の練習会 (学内研修医対象) 2013.9. 和歌山
19. 北野岳史, 坂田仁郎, 小島博嗣, 檀上茂人: 変形性股関節症における立位および臥位での骨盤傾斜の検討 I 回有田・御坊地区整形外科病診連携2013.5. 和歌山
20. 下江隆司, 谷口泰徳 , 浅井宣樹, 辻本修平, 吉田宗人 : 橈骨頭切除術後長期間経過して肘部管症候群を発症した例 . 第 27 回東日本手外科研究会2013.1.26. 東京
21. 下江隆司, 谷口泰徳 , 浅井宣樹, 辻本修平, 吉田宗人: 橈骨遠位端骨折に対する掌側ロックングプレート固定後に発生した長母指屈筋腱皮下断裂 第 9 回和歌山骨関節靭帯フォーラム2013.9.7. 和歌山
22. Kanno, S; Matumoto, S.; Shimoji, T.; Ae, K.; Tanizawa, T.; Gokita, Tabu.; Miyawaki, J.; Shibata, H.; Sasaki, T.; Takemura, M.; Motoi, N.; Kanda, H.; Machinami, R : A 17-Year-Old Female, Osteosarcoma of the Left proximal Femur . 26th Forum of the Surgical Society for Musculoskeletal. Sarcoma (SSMS), 2013.3, Tokyo

研究費交付状況

1. 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 分担研究者 吉田宗人：脊柱靭帯骨化症に関する調査研究 課題番号：H23- 難治 - 一般 -032
2. 厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合研究事業 分担研究者 吉田宗人：膝痛・腰痛・骨折に関する高齢者介護予防のための地域代表性を有する大規模 住民コホート (LOCOMO) スタディの追跡 課題番号： H25- 長寿 - 一般 -007
3. 厚生労働科学研究費助成金 (慢性の痛み対策研究事業) 研究分担 川上 守 . 慢性疼痛の多面的評価システムの開発と客観的評価法の確立に対する研究
4. 文部科学省科学研究費 (基盤研究) 代表研究者 吉田宗人：脊髄損傷後の難治性疼痛における ROS の関与について
5. 文部科学省科学研究費科学研究 (基盤研究C) 川上 守：椎間板変性モデルを用いた腰痛治療法の確立
6. 文部科学省科学研究費 (基盤研究) 代表研究者 山田 宏：地域住民コホート研究による腰部脊柱管狭窄症の自然経過の解明
7. 文部科学省科学研究費 (基盤研究) 代表研究者 橋爪 洋：腰椎椎間孔外側病変ならびにダブルクラッシュ病変における疼痛メカニズムの解明
8. 文部科学省科学研究費 (基盤研究) 代表研究者 岩崎 博：低侵襲脊椎手術実現のための新しい機能診断方法の開発
9. 文部科学省科学研究費 (基盤研究) 代表研究者 筒井俊二：脊髄後角における顆粒球コリコ二刺激因子がもたらす鎮痛作用メカニズムの解明
10. 文部科学省科学研究費 (若手研究B) 代表研究者 石元優々： MRI 画像上の腰部脊柱管狭窄有所見者の予後とその予測因子：住民コホートの追跡
11. 文部科学省科学研究費 若手研究 (B) 谷口亘 : 活性化ミクログリアが誘導する脊損後疼痛in vivo パッチクランプ法による解析
12. 平成 25 年度和歌山県立医科大学若手研究支援助成 瀧口 登：罹病期間の異なる神経障害性疼痛の薬剤効果の違いについて
13. 平成 25 年度和歌山県立医科大学若手研究支援助成 岡田紘枝：大規模一般住民コホートにおける椎間板性疼痛と退行性変性の解明
14. 平成 25 年度和歌山県立医科大学若手研究支援助成 寺口真年 : 機能的各磁気共鳴画像による新しい脊髄機能イメージング法の応用
15. 平成 25 年受託研究 (和医大総第25003号) 吉田宗人：高齢者運動器疾患予防対策事業に係る運動プログラム開発
16. 財団法人整形災害外科学研究助成財団 2013 年度研究助成 谷口亘 : TRPA1 チャネルを介した活性酸素種による脊髄後角ニューロンの過剰興奮が難治性脊髄中枢性疼痛を惹起するin vivo パッチクランプ法を用いた解析-

17. 平成 25 年公益財団法人骨粗鬆症財団 第 10 回 (平成26 年度) リリー研究助成プログラム助成金 00,000 円) 研究代表者 石元優々 : 一般住民における腰痛発症と骨粗鬆症との関連についての縦断調査 : かつらぎ町
18. 平成 25 年度運動器の 10 年・世界運動普及推進事業「運動器 10 年・優秀賞」橋爪洋 : エビデンスに基づく高齢者運動器疾患予防体操プログラムの開発と効果検証